# 京城日報

本紙定價 一ケ月七拾五錢 … 廣告料金 … 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十月二日夕刊 (朝夕併せて八頁)

## ◇司令官都督奉答
### 優渥なる勅語に對し奉り

陸軍省公表=九月二十五日賜りたる勅語に對し三十日浦鹽派遣軍司令官及び關東都督は左の如く奉答せり(東京特電)

浦鹽派遣軍司令官奉答
與國軍ト共同シテ沿海黒龍二州ノ敵ヲ擊攘シ得タルハ一ニ陛下ノ稜威ニ因ル今茲ニ優渥ナル勅語ヲ賜リ臣等感激ノ至リニ勝ヘス今後倍々奮勵シ聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス謹ンデ奉答ス

關東都督奉答
優渥ナル勅語ヲ賜リ感激ノ至リニ勝ヘス臣等倍々奮勵 聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス謹ンデ奉答ス

## 黒龍州方面戰報
### △ニコラエフスク守備 我陸海軍の行動
有志歡呼して我軍の勞を謝す

一日海軍省發表=ニコラエフスク方面の形勢不穩の兆あるより在留邦人保護の爲め八月上旬有馬司令長官の率うる艦隊の一部は田所司令官の指揮の下に同方面に派遣後狀況如何に伴ない司令長官の直屬部隊も亦同方面に行動しニコラエフスクは一時小康を保ちしが我陸軍のハバロフスク占領後同市は政情の變革と共に再び不穩の虞あるを以つて在泊せる我艦隊は九月九日陸戰隊を派遣し主として邦人保護に任ぜり又田所司令官麾下の驅逐隊はハバロフスクに到る五百浬の水路を追躡し陸軍との聯絡を通じたり爾來陸戰隊はニコラエフスクに駐屯せしが同方面は結氷期近づき艦隊の在泊を許さざるに至れるを以て九月二十四日ハバロフスクより下航せるが我陸軍部隊と交代し全部同市を撤退せり我海陸兵の交代は市民環視の中に行はれ終日領事、市長、日本居留民會長、支那居留民會長等は我陸戰隊が市の秩序維持に努めし既往の勞を謝し當日は全市休業して我守備隊の交代式を觀覽せり(東京特電)

## ◇過激首領波斯行計畫
北京至急電=ブラゴエチエンスクに拘禁中なる俘虜將校取調べの結果に據れば過激派首領はハバロフスク撤退後ブラゴエに至り聯合軍の背後に行動す可き攻擊隊十個を編成して之れに所要の金錢及び武器を分配せし上出發せしめ首領等はブラゴエ出發貝加爾湖東岸地方を經て蒙古に入り更に波斯に向ふべく計畫し居れりと而して彼等は中立國の國籍を記入せる旅券を所持し金塊、紙幣、馬匹、糧等を携行したりと(東京特電)

## ◇休戰條約成る
### 勃國對聯合國調印
合同通信電報=勃國は聯合國側の提議條件を容れたるより勃國對聯合國の休戰條約成立し調印を了したり(東京至急電報)

## ◇休戰と英國の回答
倫敦來電=勃國の休戰提議に對する英國の回答左の如し(東京特電)
一、軍事行動を中止する能はず
二、聯合國は勃牙利の求むる講和を商議する爲めには是非共勃牙利、獨、墺、土の三國と全然斷交するを要す
三、聯合國は巴爾幹に於ける領土問題に關し最後の解決を圖るの意無し此の問題は講和會議の折迄留保せらる可し

## ◇勃國同盟脱退か
米國駐在勃國公使パンテロフ氏は勃牙利は斷然獨逸墺太利の同盟より脱退する事に決したりと信じ居れり(紐育電報)

## ◇英軍勃國に進入
英軍は勃國に攻め入りたり(倫敦電報)

## ◇獨宰相愈辭任か
獨逸宰相ヘルトリング伯は近日辭任すべしと巴里にて風說されつゝあり(巴里電報)

## ◇七省聯合計畫
目下長江三督軍は西南各省と接壤せる湖南、湖北、江西、江蘇、安徽、浙江、福建の七省聯合計畫を企て各省の治安を維持すると共に實力上の仲裁團體たらしめんと企圖しつつあり(漢口電報)

## ◇總理辭任と後任
段總理は辭職に決定し後任には田文烈氏推さるべし(北京電報)

## ◇各大臣 皇后陛下拜謁
原首相以下各大臣は一日午前十時內閣會議室に於て初會議を開き同十一時閣議半に打揃ひて參內大森大夫、千種典侍等侍立の上皇后陛下に拜謁仰付けられ新任の御禮を言上したるに陛下には一々苦勞に思召さるべき旨御沙汰あり更に一同御禮言上の後退出再び閣議を繼續せり(東京特電)

## ◇皇室豫算委員
宮內次官石原健三氏は一日大正八年度皇室豫算委員長仰付られ濱尾男以下委員に任命せらる(東京特電)

## ◇文部次官
一日左の通り任命ありたり(東京特電)
從四位勳三等 南 弘
任文部次官(一等)

## ◇下旬對外貿易
### 出超千九百萬
農商務省の調査に係る九月下旬對外貿易は輸出五千九百六十五萬四千圓輸入四千六十四萬三千圓差引一千九百一萬一千圓の輸出超過を示せり(東京特電)

## ◇勸債賣出好況
第七十回勸業債券百萬圓賣出は二日より開始したるが既に豫約申込多額に達し居れるを以て賣出後間もなく締切る可しと(東京特電)

## ◇內藤博士通過
京大文科大學教授文學博士內藤虎次郎氏は二日朝釜山上陸午前十時特急列車にて北行したるが同博士は滿鐵の依囑に依り京城、長春、撫順、奉天、大連各所に於て講演を爲すべく先づ京城に於ては「朝鮮の明國」と題する講演を爲す筈なり(釜山特電)

## ◎神谷代議士通過
代議士神谷卓男氏は一日正午鷄冠山より來安新義州に向ひたり(安東特電)

## ◎新內閣と財政
### 金融策 面目を改めん
原內閣が財政金融に對し如何なる方策を實行するやは未だ不明なるも是迄同黨幹部等の洩らせる意嚮に依り新內閣の財政金融に對する方針を豫測すれば第一明年度の豫算に於て一般普通の經費は寺內內閣の跡を踏襲すべしと雖も同年度に頭を出すべき

▲陸海軍擴張 費に付新內閣は從來海軍偏重に傾くを以て日本の列强に對する地位を誤解するものとなし陸軍々備の充實にも力を注ぐ意味より陸軍側の主張する軍備編制を首肯せるもの、如し尤も軍備の擴張は國力に伴なはざるべからざるに依り我國力が果して陸海軍の主張に副ふに足るや否やは今後尚ほ議論の餘地を存すべく次に官吏の增俸は寺內內閣に於ても計畫せる所なるも新內閣は增俸を以て單に官吏の生計問題に限定せず之に依りて戰時知識階級の極端なる窮乏を救濟する社會政策上の目的に供せんとし寺內內閣の計畫より其

▲增俸率引上 を爲すなるべし又政友會は由來財政策に耳を傾けざりしも過般全國の暴動後に於ける同黨の態度は稍く一變し來りたるを以て何等かの新施設を畫策し之に對して相當の經費を要求することなしとせず其他稅制の改正に付一部の增徵を唱へ居るも政友內閣は成るべく增稅を避けんと欲すべければ多分利得稅徵收上の不備改正に手を染むるに止め置き今後世論の趨勢を見或は

▲奢侈稅新設 を企つるに至るやも知れず次に經濟界の大問題たる貿易政策に付ては高橋男が從前通り輸出獎勵の方針を持續するは殆ど疑ひを容れざるなり而して高橋新藏相の物價論より見れば兌換券の大膨脹は憂ふるに足らざるが如きも藏相の此意見は平時に唱へられたる者にして現下の如く世界各國何れも兌換券の膨脹に苦めるに際し强て持論を固執せざるは明かなり却つて新藏相は日露戰役當時我海外募債の大成功を贏ち得たる經驗に鑑み募債上の新案を工風し大いに其手腕を發揮せんとし種々畫策する處あるべしと(某政客談=東京)

## ◎總督動靜
長谷川總督は三十日一日の兩日內金剛長安寺に宿泊附近を探勝したるが二日朝長安寺出發溫井里に向け出發せり

## ◎貴族院と原內閣
### 新たなる期待を以て迎ふ

▲思潮變遷か 貴族院に於ては先天的に官僚萬能を信條とせる一部の老輩を除きては大體原內閣の出現に對し所謂新しきものを迎ふる意味に於て或程度の期待を存し寧ろ好感を有し居るもの如し元來同院も過去約五年の間に漸次面目を一新し來たれる跡あり既に一應は西園寺內閣を試みて其の成らざりし曉には純政黨內閣と雖も現下の政界に於る中心勢力を有し然も從來の主張に徵し比較的穩健の政見を有する原內閣の成立は此際當然の成り行きと解し尚其の閣員の顏觸に對しても原氏苦心の跡を諒とし居れるもの多し

▲意思疏通如何 只新內閣は貴族院より其の閣僚を出すこと僅に二名に過ぎずして然も高橋藏相は從來幸俱樂部に於て超然主義を執り居たれば閣議の內部的勢力は何等認められ居らず又山本農相は未だ貴族院議員として經歷淺きもの之と看做され居り從て政友會の別働隊たる交友俱樂部の領袖たる以外他派に對しては殆ど交涉の觀あり然るに貴族院は政務の運用を圓滑ならしむる趣旨より常に政府との接觸を欲する傾向あればこの前內閣が研究會に岡田、有松の兩氏、幸俱樂部には田、後藤、仲小路の三氏、交友俱樂部に水野氏を有して各派との聯絡意思の疏通に努めたるに比較せば其缺陷實に著しきものあり此の方面に對し原氏も既に

▲相當の考慮 を致し居る事ならんが先此缺陷に對し適當なる補充の途を講じ尚當面の問題として進言せる物價調節の方針確立に努力せば差し當り各方面とも反對すべき材料に乏しく又政黨內閣の通弊と看做され居る彼の官權濫用の驚歎擴張に對しては多大の疑惑を有するも純政黨內閣第一步の試錬を試むる原氏を信頼して此際餘程此等の點に關し愼重の態度を執るものと解せん事を欲し居り又閣員中には行政大臣として全く素人たるものもあれど是は寧ろ因はれざる意見の發露として其抱負を急憚なく吐露せしめ堂々と玉碎主義に出でん事を希望し居るが如し(東京)

## ◎辭令傳達式
二日午前十時總督室に於て一日附任命されたる三島朝鮮殖產銀行頭取及び有賀、中村、櫻井、朴各理事に對し山縣政務總監より夫々辭令を傳達せり

## ◎鮮銀チタ進出
我軍のチタ進出に伴ひ鮮銀にては軍票と鮮銀券の交換事務を掌理するため出張員を派遣する事となり居れりと

## ◎殖銀組織內容
朝鮮殖產銀行本店の組織は既報の如く三部十二課制に依る事となり各部並に所屬課左の如し

頭取 秘書課
總務部 文書課、檢査課、調查課
勸業金融部 勸業貸附課、技術課、證券課
商業金融部 普通營業課、審査課、經理課、出納課、計算課

にして部長は櫻井理事總務に有賀理事勸業金融部に中村理事商業金融部に長たるべく各課長は尙ほ決定せざるもの多きが普通營業課長には鮮銀國庫課長心得鹽川孝吾氏就任審査課長には光州農銀支配人森悟一氏就任すべしと傳へらる

## ◎殖產銀行開店
朝鮮殖產銀行にては一日創立を終り二日開業したるが午前八時三島頭取以下各重役並行本店員全部を階上大廣間に集め還山前支配人より一場の退任挨拶あり次いで三島頭取は殖產銀行の組織に至りし事情並に今後の希望に付一場の訓諭を與へ而後還山は直ちに總督府その他主要方面を歷訪したり

▲事務引繼ぎ 漢湖農銀の行務は一日より二日に亘り還山前支配人より三島殖銀頭取に引繼ぎ地方の分は各地に於て夫々引繼ぎを終りたり

## ◎東拓移民締切期
東洋拓殖會社の本年募集移民は九月三十日を以て締切る豫定なりしも期日切迫して申込み續到しつゝあるため止むを得ずその締切り期日を若干延期し多分昨年の如く十月十日前後に締切りとなすもの、如きが九月三十日までに支店の受理せし移民應募數は一千二百四十六戶にして既に募集數を超過し居り最終の締切りまでには一千五六百戶を算すべしと稱せらる

## ◎東畜開業近し
東拓の娘會社たる資本金二百萬圓の東洋畜產興業會社は來る十日東拓樓上に創立總會開會社成立後は本社を南大門通りに設立すべく家屋物色中社長は既報の如く朝鮮皮革社長賀田直治氏專務は東拓前殖產課長足立丈治郎氏就任する事に內定し居れり

## ◎京畿面事務指導監督規程
這回京畿道管內に於ける面事務指導監督規程制定せられ京畿道訓令第二十號を以て公布されたるが本指導監督規程は面事務所新設移轉に關する件面職員に關する件面引繼ぎ其他面事務の檢閲等に關する點に就き面事務の

▲指導監督に 關し規程せられたるものにて全文二十八條より成る其の內容に就いて二三を述ぶれば第一條に於て面事務所を新設又は移轉する場合は交通最も便利なる地を選定すべく第三條に於ては面事務所を面長の住宅內に置く場合は建物又は室を區劃し公私の區分を明かならしむべく第八條に於ては面賦課金の外名義の如何に拘はらず協議費の類を徵收することは之を嚴止せしむべく第十四條に於ては面事務の檢閲に際しては懇切叮嚀を旨とし誤謬又は不整理の點あるときは反覆說明し之が指導に努むべく更に進んで第十六條に於ては面事務の檢閲事項の

▲概目を集め て之を示し以て面事務の改善と地方の發達を期し之れが事務に關する指導監督の實跡を擧げん事に努めつゝあり其の要項に曰く面事務所設備の狀況、面職員の勤惰及び規律遵守の狀況、面長面事務總轄執行狀況、事件處理の狀況、法令例規及び面諸規程整理の狀況、豫算の執行豫算の追加更正流用豫備費の支出の適否借入金、工事請負手續出納閉鎖決算の適否其他面財產經理の狀況、面賦課金其他諸收入徵收狀況、國稅、驛屯賭收入及び地方費並に公立普通學校費徵收の狀況、民籍居住に關する事務

▲處理の狀況 產業衞生其の他各種事業補助獎勵に關する施設及び其の効果其他數項を列擧して檢閲すべき事項とし郡守又は郡守の命じたる官吏をして每年一回以上各面に就き一般事務の檢閲を行はしむる事とせり而して右の面事務檢閲の際には併せて面職員の適否、面職員間の折合、面職員の面民に對する態度及び面民間に於ける位置、內地人の分布並に內鮮人の折合、面民生活の狀況、地方費、臨時恩賜金其の他諸般の施設に對する面民の感想等は勿論進んで教育衞生法令周知の狀況篤志者善行者並に被選擧者の選擧後に於ける狀況より運輸交通

▲戶口の增減 地方發展の狀況等詳細なる點に亘り調查の步を進め以て專ら面の繁榮地方狀態の啓發進展を期すると共に鋭意之れが指導監督に任じつゝあり

## ◎活氣ある第一日
### 殖銀の開店
椅子机抔がゴタゴタと資本金一千萬圓——支店の數が四十六と云ふ、此支店の數に於ては正に

◆日本第一 世界にも類ひ少なき殖產銀行は一日創立二日より開店した、開業匆々で忙しいさかり、脊のすらりとした三島新頭取を先頭に、永い間の官界生活を脫した有賀櫻井の兩理事、活氣橫溢の中村理事などが、八時には頭取を先頭にしてやつて來る、前日まで漢銀の行員であり今日から殖銀の行員に變つた面々、鮮銀やその他から入つた人々も續々集まる、何しろ急に組織が大きくなつたから好い加減大きい建物も手狹である、綺麗な卓と椅子の置かれた

◆頭取室 秘書課、大卓が四つある重役室、文書課、檢査課、調査課は普通階上に割當てられたが其他は皆階下で、然も倉室の割當てを受け得ぬ課さへある、經理課は應接室の一室を占領してゐる、審査課と云ふ四十六支店を支配する重要な課は遠山君が永い間緞綢の蒲團を敷いた椅子を沉き續けし支配人室に收まり、從來の調査課の跡に技術課と勸業貸附課が入る事となつた、何でも隣地に大急ぎで

◆增築を 初め年內に出來上らす段取ださうで、それが終れば大分ユトリも出來て來よう、新重役は三島頭取の行員に對する訓示が終り、何か事務の打合せをすると、すぐ挨拶に出かける、人の出入が多い、活氣が溢れてゐる、机、椅子、ペンなどがゴタ動かされ混雜せる中に普通營業課長の鹽川孝吾君が『居借りのやうな氣がしますよ』とそのエス面をニコニコさせ乍ら忙しく仕事をしてゐる、勸業貸附課に入ると短いビール樽に見ゆる今井武人君がゐる、去年元山の咸鏡農銀支配人から山口農銀かの支配人に轉じたが都合があつて辭めて來たらしい。

◆無愛想 で一寸人好きのせぬ人だ『勸業貸附課長かい』と聞くと係り惡い氣もせぬらしく小さい目を笑はしてゐた、前農銀の高級行員連は普通營業課に屬するもの、外部は尙は未定ださうで手持ち無沙汰にしてゐる、然し午後になると略ぼ大等の整理も濟んだやうだつた、又地方支店勤務者中本店轉勤を命じたのが多いさうだから、それらが三四日中に續々やつて來れば更に本店の各部は充實して來るだらう

## ◎兩博士入京
九州帝國大學教授醫學博士久保猪之吉、京城總督府醫院長醫學博士稻垣長次郎の兩氏は二日夜入京朝鮮ホテルに投宿三四兩日間市內視察の筈

## ◎嘉納校長入京
東京高等師範學校長嘉納治五郎氏は二日夜入京令弟朝鮮銀行副總裁嘉納德三郎氏邸に入るべし

## ◎堀東拓殖產課長
新東拓支店殖產課長堀課氏は來る十日頃前任地大邱より入京すべし

### 人事消息
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 去廿二日來大邱其他南鮮地方へ出張中の處一日歸京
▲飯泉幹太氏(鮮銀秘書役長) 東上中の處三十日夜歸任
▲田中三雄氏(總督府統計課事務官) 三十日附四日間の豫定にて慶北管內へ出張を命ぜらる
▲伊藤門次氏(總督府山林課技師) 國有林事業調査監督の爲め忠北忠州郡外二郡管內へ出張を命ぜられ一日出發
▲福岡縣學事視察團 四日滿洲方面より來京の筈なりし一行三十五名は都合に依り十一日入京のことゝなれり
▲郡山農學生 第二年生三十三名は職員引率二日午後入京三四五の三日間市內各方面見學の上六日退京水原に向ひ同地視察の上七日歸郡の筈
▲小林呉橋氏(畫家) 四日入京大和町一町目三十二番木淳春氏方へ約十日間滯在の豫定

## 茶前酒後
◆勃牙利の、聯合國に對する休戰提議は、愈、聯合國の認容する處となりたりと、合同通信報ず。而して之をして、其容易ならしめしものは、即ち聯合國側の提議を、勃牙利が認容したるが故也。換言すれば、勃牙利が、聯合國の要求に應ぜんとするが故也。要求に應ぜんとするは、即ち降伏に進まんとする、道程なりと見るを得べし。茲に於て中歐同盟に、破綻を來たすべしと見て可也。

◆半ば滅亡に瀕せる土耳古は、愈孤立無援となれり。斯ては、外敵に滅ぶるに非ずして、內よりの破滅すべし。獨帝が計畫せしバグダット鐵道問題も、誇大妄想狂の一夢と化し去れり。

◆次に勃發すべきは、墺匈國の內亂なるべし、墺匈國は素ッ裸に兜を頂けるが如し。頭部よりの敵は防ぎ得べきも、側面より來る敵は如何とも爲し能はざるべし。されば愈、末路を吹くに至らん。

◆獨逸の奸計に弄ばれし列國は、今や何れも悲慘なる狀態に陷りて、一步を進めば潰滅を脫るゝの用意を急がざるべからず。愈、獨逸自身に於ても、最早最後の決心を爲さざるべからず。彼は死すとも猶、奸策を弄せんとなすか。然らば彼遂に自ら奸策に倒れんのみ。

◆伊太利ヴィフレキー生れのエルシー、ペリユオミと云へる、年若き女は、太平洋航路の船長たる資格を得て、愈、航海に從事すべしと。之れ世界女船長の嚆矢也。船は由來女性也。女のキャプテンは、或は正當のものたるかも知れず。之れ即ち適材適所かも知れざる也。

八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
土工用具並ニ建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はゞ直に御送附可申上候
直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店 電話一六三番、振替京城二一〇番

婦人畫報
◆婦人の決定的勢力(浮田博士)
◆生活問題と國體(遠藤博士)
◆西伯利出兵と婦人(長瀬鳳輔)
◆私の見た京都の女(渡邊夫人)
◆男爵夫人の面影(婦人記者)
◆米國獨立祭と日本婦人(在米婦人)
◇噫良妻…… 巖谷小波
◎親達の注意すべき子供の目つき
◇子供に玩具の與へ方 井上秀子
(口繪) [illegible]
長篇小說 ◎源氏車 ◎須磨子
◇腎臟病者の心得
◇少女の犯罪と動機
短篇小說 鏡 下田次郎 美人 長谷川時雨
附錄 二百人美人畫 晩餐
十月號
東京京橋區 東京社

◎在庫豐富◎
エヂプト(金口) 紙卷煙草
マニラー ハバナ ホーランド 葉卷煙草
各國產 洋酒類
右多數取揃へ居候に付御用命被下度候
直輸入卸商 パイジス商會 大連市浪速町三丁目 電話四六五番 振替大連一四八〇番
御一報次第定價表御送附可申上候

今! 今!! 今!!!
十月五日より當分の間
御買上金高
金拾圓以內 壹割引
金拾圓以上 金參拾圓以內 壹割五步引
金參拾圓以上 貳割引
但し現金の事
京城明治町 唐川吳服店 電話二六一番

# ◎鮮商殺犯人 捜査の苦心

## 共犯者は始からないと思つた 合理的捜査と見込捜査を一緒に行ふ 小路の飲食店に現れた怪しの男

本町警察署長 小牟田警視談

今度の鮮人殺商事件は全鮮を震駭せしめた大事件であつて、之れが犯人捕縛の可否遅速は獨り本署の責任に關するのみでなく全鮮警察界の威信に關することは勿論である、本事件の突發以來上は總督閣下、兒島警務總長閣下を始め常に本事件に關して心痛され又一般市民諸君も亦大なる

◇不安の中 に幾日かを過ごしたのである。それで本事件突發以來其衝に當つて職責を全うせんとする我々は不眠不休の努力を續けた甲斐あつて犯人は去る三十日大阪に於て遂に捕縛するに至つたのである逮捕の經路は昨日發表したのだが今度は犯人捜査上の苦心と嫌疑者に關する一二の挿話を話しませう。此の犯罪は人も知る通り稀に見る

◇殘虐行爲 で而も白晝に於て演ぜられたのである誰しも其の犯行の大膽さに驚かざるを得ない。で此の兇行の急報に接した時は當署鍾路署、龍山憲兵分隊等を始め其他の關係警察署、憲兵隊等で合同捜査を行つたのであるが犯人が愈々非常線外に在ることが判明してからは各署に於て夫々

◇活動を開始 したのである。ところが例の犯人が認印を頼んだ判屋は本町署管内に在るので自然捜査の主體となるのは本署で捜査上の責任は私が背負つて起たねばならなくなつたのである。そこで私は證據物件の蒐集や犯人捕縛上の方針の爲めに全力を擧げて解決の一日も早からんことに熱中したのである。警察の

◇捜査方針 は合理的捜査と單獨的捜査の二に分れて居るが本事件には被害者から證據品として契約書を發見したので合理的捜査を行ふことにした。ところが其他には何等の證據品が擧がらず非常に困難を感じた。そこで一方見込捜査即ち犯人の人相、著衣其他を參考として捜査することゝしたので合理、單獨兩方の捜査を一時に初めるので仕事が非常に紛雜するやうになつた。そして始興驛に加害者と同行した朝鮮人金某を始め被害者宅の家族番頭に就て加害者の人相を聞くに其答へが一々相違して居て捕捉するに苦しみ單獨か共犯か全く區別が付かなくなつた。然るに私の考へとして被害者鳥飼を甘言を以て誘ひ出し同行の朝鮮人を始興驛に停めて相手の

◇勢力を殺 ぎ而も兇行の大膽にして見事なる點より推斷すれば犯人は決して無頼無智の徒でなく可成の教養あり意志的訓練を經たものと鑑定せねばならぬ。そこで斯かる多智大膽な人間が他

## 犯人は單獨であるか 或は共犯であるかと確むべく

を使嗾して犯行を敢てせしめ罪の發覺を早からしめ又被害者を誘ひ出したのみで現金は下手人に持ち去られるやうな

◇迂闊な事は しまい。之は必ず單獨にして他に共犯者はないと睨んだのである。處が茲に捜査を妨げた一つの笑話を挿まねばならぬ。其は恰度廿一日の夜の事である。鍾路警察署裏手の田阪と云ふ飲食店に一人の男が行て來て酒を飲んだが勘定の時に財布の中から七八百もあらうと思はれる紙幣束がはみ出したのを

## 一挺の短銃を所持して居るのを店の者が發見

し直ちに鍾路署に急報したのだが此時は例の男は何處にか姿を消して居たので大騷ぎとなり犯人は必然其男に相違ないと云ふので本町鍾路兩警察署では直ちに非番巡査迄召集して非常線を張つたのである。而してその非常線は翌二日に至るまで緩めなかつたが常人を乘せた俥屋が旭町に居るのを突き止めそれから

◇綵を手繰 つて見れば其男は旭町の葬儀社の會計で中河原久吉（三五）と云ふことが判明したので早速引致取調べて見れば大の歩取で其の大金は集金した金でピストルと云ふのは何か他の品物と見違へられたのである。そこでその男はすぐ放還したが其の御蔭で二日間と云ふもの丸潰しになり犯人は

◇赤い舌を ペロリと出して居たであらう、さア其處で大事な時を此の事に消費したので更に馬力を掛けて印判屋の方から調査を續け犯人は必ず旭町一圓に居住するか或は同所を往來するものかを精細に調査した結果電話番號筆蹟の證據を擧げ四十幾人が一所に寫つた犯人の寫眞を探し出して夫れを印判屋に見せ

◇注文主を 物色させたところ印判屋は其中の一人を指して確に此の人だと云ふ。それが恰度私の推測と符合するので百萬の味方を得たやうに元氣づいた、夫が恰度二十五日の事であるが犯人は愈都野川義夫なるもので旭町の九州旅館名儀人（經營者は都野川の義妹の亭主小鹿島と云人）と云ふことが判明した、ところが

◇一方都野川 は二十四日平壤方面に向け出發したと云ふので直ちに同方面に平林石川の二刑事を急派したが杳として犯人の居所が判らないので翌日引返したのである。一方本署に於ては大事を踏んで控へて居たが愈犯人が平壤で捕まらないとすれば九州旅館の家宅捜査を斷行することに決し二十七日遂にそれを決行した。所が驚くべし

## 一萬八千圓の封印付の紙幣束がブリキ罐の中に收められて

居たのを發見した。之れは犯人都野川が廿一日の夜一旦九州旅館に歸り義妹スガ子に對して五千圓入の紙包みを手渡し『是は陸軍の用向きで滿洲方面に發つ時の金だから預つて居てくれ』と言つたのですが子は何氣なしに預かつて居たのである夫を他出中であつたスガ子の夫

大小鹿島（犯人の義兄）が二十五日に歸宅してすが子から話を聞き非常に怪しんで居たところが、同二十五日に至つて犯人の情婦思信は犯人を平壤に訪ねて歸京しすが子を本町の料亭江戸川に招き『之は都野川さんから頼まれた金ですが何卒預かつて置いて下さい』とすが子に手渡したのが封印附の

◇一萬三千圓 包みである、すが子は心に異しみ乍らも餘儀なくそれを自宅に持ち歸つたが夫小鹿島は愈々犯行になる金と推定して監獄課長深澤新一郎氏に向つて懇意の間柄だからそれを打明けたのである然るに一方私の方では愈二十七日家宅捜査を行つたので其の五千圓と一萬三千圓合計一萬八千圓の

◇金を發見 したのである。まア當方に於ける捜査の經路は以上の通りであつて其後の事は犯人到著の上でなければ判らぬが此の捜査方針に就ては保安課長を始め永野警視がよく私の意見を用ひて何等の制肘を加へず思ふさま捜査を續けさせ又奥村司法部主任を始め佐々村、岸、柳橋、石川、平林、坂本、重久等の

◇諸刑事が 眼覺しい活動を續け、鍾路警察署其他全鮮各警察署憲兵隊などからも非常に援助を受けたことを衷心から感謝して居る次第である

# ◎重荷を卸した本町署

## 犯人は二日夜南大門驛著 小牟田署長が早朝から晴々しい顔を見せる永野警視は芝居へ行つた

十日間と云ふものは不安な重々しい空氣に鎖されて居た本町警察署に鮮商殺し犯人逮捕の電報が大阪から舞ひ込んでからは同署の空氣がカラリと一變した。氣むつかしく黙り込んで深い考へに沈んで居た小牟田署長は今日は

▽早朝から耀 かしい顔を見せる

連日の勞苦に敬意を表すると『よく逃げもしたがよく捕まへたぢやないか』と氣嫌が好い。やがて制服姿の永野警視が『お早う』と云つて入つて來る。昨日迄は大抵和服姿で一室に閉ぢ籠り地圖を按したり嫌疑者の寫眞を眺めたり報告書類に眼を通したりして寢食を忘れて居たのが『昨夜は芝居見物に行つたよ』と氣輕に云つて

▽仕事に凝た 肩のあたりを叩く

司法主任の奥村警部が忙しく階段を降りて來て晴々した顔を見せる其手に握られた電報には

犯人 は二日朝小松警部佐々村、柳橋兩刑事に警護されて大阪出發二三日夜南大門驛著

とある。暫らく經つて、また一通の電報が

▽署長の卓上 に舞ひ込んで來た

逮捕に向つた小松警部が發したのである、電文には犯人の申立によれば共犯者は無いと云ふ『やはり僕が推斷して居た通りだよ』と署長は眉を昂げる。

# ▽連絡船中の都野川

## ボーイには僅か一圓の心付

鮮商殺し犯人都野川は二十七日夜釜山發の連絡船高麗丸にて内地に逃亡せるものにて船客名簿には東京市牛込區辨天町四貿易商立石卯一と記入し京城より東京迄の切符を有し居りたるが船中にては百圓紙幣四枚を兩替したるもボーイには僅に一圓の心付を與へたるのみにて至つて地味なる擧動を爲し居たりと（釜山特電）

# ◎最近の死傷勇士

十二師團司令部發表 九月十九日の西伯利アレキセフスク附近戰鬪に於ける戰死傷者並に同二十四日のゼーヤ市附近戰鬪に於ける戰死傷者名を二十九日ハバロフスク野戰第十二師團司令部發電留守第十二師團司令部に通報し來れり左の如し

アレキセフスク附近戰鬪に於て
北方歩兵第四十七聯隊
第一中隊軍曹 島本 謙見
同 二等卒 溝口 十郎
同 同 西田 益藏
同 一等卒 將口 壽太郎
同第七中隊 二等卒 道野 義雄
小倉歩兵第十四聯隊特種砲隊上等看護長 岩田 吉藏
以上即死
北方歩兵第四十七聯隊
第一中隊一等卒 信濃 爲一
負傷後入院中二十三日死亡
北方歩兵第四十七聯隊
中尉 岩永 清治
同 少尉 渡邊 正雄
同 特務曹長 吉野 粂太郎
以上負傷
外下士以下十五名
ゼーヤ市附近戰鬪に於て
北方騎兵第十二聯隊
上等兵 安增 勇
即死
北方歩兵第四十七聯隊同騎兵第十二聯隊下士以下負傷各一名死

# ◎第二回の傷病兵

## 二日門司入港

第二回傷病兵九十七名を搭載した筑前丸は二日午後四時門司に入港したるが鐵道輸送の關係上船内に一泊し翌三日午後一時五十分門司驛發列車にて北方に輸送する筈なりと（門司電報）

# ◎海軍々人にも 繃帶を御下賜

## 國母陛下の御仁慈

皇后陛下には畏れ多くも沿海州並に北滿地方出征中の傷病兵の身の上を深く御軫念あらせられ側近奉仕の女官を御指手に御手づから御製作遊ばされたる繃帶三十卷を二十七日陸軍省に御下賜遊ばされたるが更に海軍省へも御下賜遊ばさる、由洩れ承る（東京特電）

大掃除が始つた

# ◎新大臣の奥樣方

## ▽喜を共にする人々 昔氣質の地味な方が多い

▽確りした人 原首相夫人

冷静にして嚴格一面聞かぬ氣の育柄の淺子夫人は確に原首相に相應した世間談の婦人とは異なつた處がある臺所のことは勿論家事一切の事をその手一つで切り廻してあの潔癖な原氏の顔筋一つ動かせたことないと云ふのを見ても其の異なつた點を知らる、のであるが淺子夫人は壬君と同郷の岩手縣江刺郡岩谷堂の菅野彌太郎氏の女で上京してから芝山内紅葉館に居たことがあり其頃から原氏に認められたので貫意の籠つた確かりした婦人である原家に入つて以來曾て一度も花遊山などは素より社交界なども少し顔を出した事がなく眞の内助的の婦人であるがそれで萬事に優しく女中なども先生に事へる樣だと云つて居るさうである

▽子供に沒頭 床次内相夫人

（四七）さんはその献びぬ凝と身にしめて目下麻生三河臺のお邸に風邪心地に床籠り中とある平素はただお子樣方のお世話に忙しいので滅多に外出なさるやうなこともなく大抵の日は在宅で夫君を始め家族のお世話にのみ沒頭してる殊に氣立が優しいので出入りの人々にも敵る氣受けがよいさうな

▽昔風の良妻 山本農相夫人

上二番町の古風ながつしりした邸に住む山本達雄氏夫人たほ子（五二）の方は親ひやら獵官運動の司候やらで忙され流石に慎み深い奥樣も少し上つた調子で駈廻つて居るが、たほ子さんは昔氣の良妻賢母で、色々の婦人會には名前だけは並べてゐるが殆ど出席したことがなく始終家に許り閉籠もつて家政の切り廻し、女中の使方の上手さに於て今の女子學院、昔の櫻井女學校時代に謳かした才媛の名を僅に保つてゐる

▽社交が巧い 高橋藏相夫人

男爵高橋是清氏夫人しな子（五二）の方は前の二人に比べると內助ばかりではなく折々は外へも出て却々社交も巧い方で芝居などにもちよいく出懸けられる程開けてゐる

▽却々骨董通 中橋文相夫人

下六番町の中橋さんの奥樣は京つ子（五二）といつてこれまた主人の政治狂といはれる程の浮氣には似つかぬ世間嫌ひの內氣な性質內助の功を推賞される一人であるが却々趣味が多方面で中橋さんの理道樂などよりはずんと高尚な骨董通である

# ◎音樂成金の環女史

## 一寸歸國せん

渡米以來同地の樂壇の明星として持て囃され音樂成金に成り濟ましてと傳へらる、三浦環女史は既に南米の旅行を終へ目下紐育に滯在中であるが最近濠洲からの交渉があつたので契約が成立すれば此冬同地に渡航する筈で左樣なれば五年振りに母國へ歸ることいふ手紙が去る二十七日東京の實母の家に著いたさうである（東京）

# ◎浦鹽歸客談

▽鹽の缺乏 浦鹽地方は今や漁期に入つたので各地とも鹽に缺乏を來し殊に烏蘇里哥薩克の如きは之がため大に苦んで居る浦鹽商業會議所にては之を救濟すべく軍司令部宛にて貨車二臺の鹽をイマンに送り之を住民一同に分配したが尚軍司令部にては引續き鹽を買入る、事となつて居るから十分に供給を受くることを得るであらう鹽は一封度四留五十哥である

▽農產物不作 本年の農産物は餘り豊穰でない麥穗の如き立派に成熟して居るが雨量多かりし爲め實入宜しからず蔬菜類の成育悪く馬鈴薯の如きは大半腐つて居る

▽救助船要求 今春一千人の漁夫は漁具を携へて義勇艦隊の汽船二隻で浦鹽よりオコツク海に出漁したのであるが昨今既に漁期を過て義勇艦隊の汽船が彼地に航行しないので糧食衣服等に缺乏して大弱り此儘冬越をするとなると餓死するの外はないからとて代表者から浦鹽の義勇艦隊へ向け早く助船を出して呉れと云ふ電報が來たさうだ

# ◎慰問袋

京城旭町の日蓮宗護國寺にては信徒婦人會より慰問袋を出征軍隊へ贈ることゝなりしを以て第一回五百個を五日までに取集め更に來る十五日頃に五百個を取集め第二回分として發送する由

# ◎築港落成 祝賀園遊會

## 官民七百名を招待 華々しく擧行

仁川築港第一期工事落成祝賀の爲め來る廿七日竣工式擧行當日は京龍の來賓五百名仁川側二百名都合約七百名を招待して大園遊會を開催すべく之が費用として三千五百圓の經費を計上せり會場は築港構内閘門南側にある約一萬餘坪の空地を之れに充つべく去る一日準備委員會總會を開き各係員を選定諸般の協議を遂げ直ちに其準備に著手せり（仁川）

# ◎大浦兼武翁は 胃出血で倒れた

## 遺骸は降り頻る雨を冒して東京へ歸著 本邸は弔問客で雜沓

政界隱退以來相州鎌倉長谷の別墅に閑居不遇の晩年を過ごしつゝありし大浦兼武氏は二三日前より持病の胃腸病再發し毛色勝れざりしが三十日午後四時頃便所に行きたる後風呂に入らむと居室を出でたる際突然電擊性の胃出血を起して打倒れそのまゝ昏睡狀態に陷りたるを夫人が認め直ちに醫師を招きて應急手當をなし數回の注射を試みたるも何等の反應無く午後六時逝去せり遺骸は東京より馳付けたる令息兼一子附添ひ午後十一時三十五分折柄降りしきる秋雨を冒して新橋驛に到著し麻布櫻田町の本邸に入れり翌一日は朝來加藤高明子を始め多數名士の弔問客にて雜沓したり（東京特電）

# □黒龍江の月

金谷從軍記者

○○君足下『黒龍江の鐵橋は延長一里半人道の往復に三時間かゝる』と土地の人は誇る、兎に角長大なる鐵橋である九月十七日の夜私は今鐵橋上を過ぎつゝある、久しく戀慕した黒龍江の流れと長大なる鐵橋!!その印象の消ねぬ間に私は玆に手紙を書く

今私の列車を走らせて居るサゴンの窓には暗い蠟燭の光りよりも猶明るい月の光りが差しこんで、茫漠たる平原にはギリヤーク壬民の灯火が見ゆる、チラノ〳〵チラ〳〵!!紅い灯火が黒龍江畔の草の葉末に見ゐかくれて汽車は聊々と虫の音をわけつゝ行く、私は今大陸の何の月光を眺めて居る、何等の壯觀、何等の壯大さであらう

ハバロフスク停車場を出た時私は地平線へ沈む郎を見た南方遙かに吉林省の山影の打霞む彼方、ゆる〳〵灰色に暮くのは黒龍江の流れである。灰色の靄さ、夕燒さ、鉛色の水と、地平線と、その雄大さはさても想像のつかぬ偉大さである。汽車は走り走つて白樺の林を過ぎ、隧道をくゞり稍暫くして江畔に著いた。黒龍江の鐵橋は玆に始めて眼前に現はれる、哨い旗を持つた

歩哨人の一人が、ブー〳〵と一つ角笛をふいた、上からは銃劍をつけた日本兵が降りて來て『よろしい』と云ふと汽車は出る、月は恰度何心に映つて居る、白い鐵梁と電燈の光りとが順々に窓を過ぎる、行つても〳〵橋梁である、やゝあつて大きな中洲に來た、暫くするとまた流れが少し經つとまた中洲、ギリヤークの家の灯影はチラ〳〵チラ〳〵下の河原に輝いて居る支那人の所謂『ダアダア』であらう。月を見る自分の傍らにはこれもプラゴエの戰線に向ふ鐵道隊の將士があつた、『道麼橋梁を破壞されたら大變ですな』と訊けば『左樣、修築に半年位ゐかゝりませう敵の破壞を免れたのは烏蘇里線でもイマン、ビキンの大鐵橋がありますが、兎に角露の過激派にとつては幸せです、過激派も一般地方民の怨を恐れたものと見ゐます、此の他二千米突以上の橋梁は黒龍線に三箇此の鐵橋なぞもわれ〳〵鐵道隊は水深六米突の計劃で用意して來ました――』

振り返れば遙か河上にはハバロフスク市の燈火が見ゆる行手は歐き黒龍江洲の大原野月は彌よ輝き溯つて今宵は秋の十三夜が、私は明日アルハラに著き、更に山田旅團の前線に向ふ豫定、氣溫は今攝氏の四度、遙かに君の健康を祈る（黒龍江畔の車中にて）

# ◎講道館支部 開設式

## 柔道紅白試合

長谷川總督 山縣政務總監も臨場

講道館朝鮮支部に於ては既報の如く講道館長嘉納治五郎氏來京を機とし來る六日（日曜）午前九時より京城中學校の柔道々場に於て左の通り支部開設式及び柔道試合を爲すべく當日は長谷川總督、山縣政務總監外他數來賓列席の筈なり ▲支部▲二百餘名の紅白試合（有段者出場し）▲部員の柔道型▲支部長支部開設報告▲嘉納師範の型及び講演

# 大掃除

三日

本町一、二丁目、旭町一、二、三丁目、明治町一、二丁目、永樂町一丁目、南山町一、二丁目、南大門通一丁目

左記各町は大掃除を施行すべし

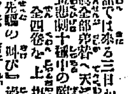
# ◎我子を打殺す

全北錦山郡禮里理院驛前某人野久作（三四）は同郡五山里資産家南奉春を欺き同人の仲介にて前後三回に亘り細田好助より千九百圓を詐取したる爲め其筋に於て取調中曾て夫婦喧嘩をなし妻を毆打せんとして誤つて我子を打殺したる舊惡發覺し嚴重取調中なりと

# ◎松尾氏夫人逝去

本社編輯局長松尾茂吉氏夫人は永々病氣の處二日午前逝去せり葬儀は三日午後四時自宅出棺南山本願寺にて執行の筈

# ▲疑問の死



黄金館では來る三日から石井天活一派の新派悲劇十種中の第一回連續劇『疑問の死』全四卷を上場し西洋物では時局寫眞『先驅の叫び』諧稽『デブさマベルの新世帶』其他例に依り新寫眞多し

# ◎滿洲里はもう寒い

▼時刈壬勞 …るが其談に曰く…所大歡迎を受けウラーの聲は耳を聾する許りである、ついて…

▼大分寒く この間は…輸送困難となりその爲め一時兵…だ頑強な連中も居り夫に獨墺兵も…頑張つて居るから却々始末する…

◎連絡船上陸客 一日午後釜山著連絡船…二等客…秀次…松尾…

天氣 晴

妻マル儀病氣ノ處養生不相叶本日午前九時遂ニ永眠仕候此段御通知申上候
追テ葬儀ハ明三日午後四時自宅出棺途中葬列ヲ廢シ本願寺ニ於テ執行可仕候 尚勝手ナガラ香花御贈與ノ儀ハ堅ク御斷申上候
大正七年十月二日
松尾茂吉
親族代表 河村國太郎 寺澤德二郎 河村辰二郎 倉田敏助
友人代表 増田三穗 白井水城 江口虎藏 加藤房耳 藤村忠助

妻ハツ儀豫而病氣ノ處本日午前十一時死去仕候間此段謹告仕候
追而葬式ノ儀ハ途中行列ヲ廢シ來ル十月四日午後四時初音町二〇〇番地國柱會京城局ニ於テ佛式相營ミ可申候
大正七年十月二日
寓居京城日之出町七十四
若林亮助
親戚友人 若林信太郎 志岐信泰 湯本芳三郎 井形九八

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 精緻なる技術を以て廉價に迅速丁寧懇切として御高需に應ず
京日寫眞製版部

荷車材料商
樫板一寸三分一丈物 坪金拾參圓
特價一人引荷車 貳拾九圓五拾錢
多少に不拘御注文次第御送致候 但し御注文の節は手附半金要す
福岡市博多瓦町 鬼鞍善兵衛 電話一四四 福振一四〇三

稲麥扱

東京本所長崎町三日本發明… [illegible]

廣告
▲鐵鑛石 ▲鐵鑛區
右多少に不拘高價買入す
平壤本町 岩田商店

……の陣地拔新無……
……この……は最う……の秩序を維持して居るが……
……快の極……ある、……滿洲里はモウ
……に東清鐵道從事員の同盟罷工によ
▼軍門に降るものが……かず先づ當分は戰ひも休みで此……するこゝなるだらう

## 大連より

◎滿洲に於て支那兵の邦人侮辱事件及び我が南滿鐵道交通妨害或は我が軍隊及び警官の少數なる際を窺ひて暴行を加ゆるの事件は頻々として數ふるの遑なく特に我北滿出兵以來事件は愈々頻繁に生起し來れり

◎而して其の都度吾人は我駐在領事が支那官憲に對し嚴重なる抗議を爲し而して之れに對し型の如く支那官憲が鄭重なる謝罪を爲しそれにて事件は圓滿に解決せらるゝなり而して新しき事件は直ちに踵を起し又新しき交渉と新しき謝罪と新しき圓滿解決日支親善を見る甚だ憂ふべき日支親善に非ずや

◎元來支那軍隊は苦力と同樣の意味に於ける勞働者にして更に其の低賤なる給與に甘んじ何事か火事場泥棒的の僥倖に遭遇せんとする感情なる彼等の悪性は普通一般の苦力よりも更に甚だしく御し難き一つて武裝せる落戸者團なり

◎斯の如き落戸者團が傍人に對して無聞を加へ暴行を働くも亦止むを得ざるなり即ち彼等は毒蛇虎狼に等しく無智狂暴にして甚だしく臆病なる者なればなり彼等は對手が多數優勢と見れば當然主張すべき權利の主張も爲さず其の反對なる場合に於ては何等の意趣理由なくして破壞殺傷掠奪を行ふ眞に度し難き徒輩なり

◎彼等の暴行事件起るや我駐滿の官憲は直ちに交渉し所謂日支親善の美名を繕ち得るを毎とし未だ曾て根本的に再發を防ぐの方法に出でず而して環視諸外國人をして如何にも我國が一事件の庇毎に交渉呼ばはりを爲して何等か爲す處あらんとするが如く推せしむる甚だ不快にして不利益なり

◎今回の奉天地方に於ける日支兵の衝突の如き然り我は我鐵道守備の爲め當然執るべき處置を執りたるなり即ち彼が鐵路に石塊枕木を積み列車の轉覆を企てんとするを防止せるより起れる衝突なり

◎吾人は敢て過激の言を爲す者に非ざるなり眞の日支親善の爲めに口頭文書謝罪等よりも根本的の方法を執る必要を切に感ずるなり即ち曰く我鐵道守備に在る軍隊は任務として當然執るべき行動を整々と遂行すべきなり何ぞ必ずしも踏躇として火急を切りて之れを交渉に移し彼等落戸者團の謝罪を甘受して得たりと爲すや

◎空しく疾風迅雷間一髮を容れざる處置に出で彼等をして我駐滿軍の眞に恐るべきを知らしむるの必要あり、鄭家屯事件其他我守備隊は機を失ひたり

◎吾人は寛大洪量は邦人の對支人の態度として最も緊要なるを熟知すれども常に寛大一天張りにて彼の虎狼の群に對す殆ど策の得たるものに非ざるを知る支那に對しては宜しく小刀細工式の交渉や要求を少くすると同時に時と場合とに應じ寸毫假さず星馳雷擊して大人的膺懲を加ふるを最も必要とす

## ◎吉林軍擴張　新設兩旅の募兵

孟督軍の宿志たる吉林軍備擴張は經費の目算略成り現在の混成第四第五の二旅を以て一師を編成し兩旅は更に募集する筈にて幹部にも異動あるもの、如く現第四旅長高士賓少將は新設師長に進み參謀長王瑞林旅長に陳鄂達大佐參謀長たる可く新設二旅は近く募兵に着手する筈なりと(吉林)

## ◎金銀銅禁輸　注目すべき提議

世界の大勢は今や金銀の需用を激增し何國と雖も金、銀、銅、鐵の流出を恐れ皆夫々禁輸令を發し之を防止せんと努めつゝあり支那政府に於て茲に鑑み最近北京外交團に對し金銀地金、銀貨、銀製品、銅、銅貨、銅品の外國輸出禁止を提議し來り目下北京外交團に於て協議中なるが元來支那の通商條約に依れば指定品の輸出入禁止を爲す場合は關係國と商議を要すことゝなり而して昨年も此提議をなし來りたるが何分該品目の輸出禁止、通商貿易を阻害する事極めて深甚なるを以て此提議を拒絶したるが今回の提議に對しては果して如何なる方法を講ずるや外交團會議の結果に依らざれば判明し難きも該禁止の結果打擊を蒙るべき我日本なれば最も注目に値すべき問題と云ふべし(奉天)

## ◎糧穀の禁輸

奉天全省を通じて本年の秋は豐饒を以て目されつゝあるも糧穀出廻り期に際し各奸商等不正の暴利を貪らんとし盛りに穀類を省外に輸出し爲めに省城の價格を昂騰せしむる屢々なきを保し難しとし張巡閱使は商務總會總協理と協議の結果糧穀出境禁止の前提として省城各商家及び各縣知事に訓令を發し妄りに穀類を省外に輸出する事を禁止し尚ほ違背する者をば嚴罰に處すべしと(奉天)

## ◎奉天へ軍費到着

奉天省城に於ては張督多數の兵を募集したる以來其の支出費非常に莫大となり軍餉時として徑期して大いに困難を感じつゝありしが昨日中央より奉天軍費として五十萬圓を送し來り張巡閱使員を派して已に領收したるを以て向後暫時は軍費に對し前月の如く困難を感ぜざるべしと(奉天)

## ◎壯觀を極めたる閲兵式　瀋陽の秋草爲に香ばし　終りて盛大なる日支官民の交歡

秋空一碧清爽として旭日煌々たり九月二十九日我奉天宿營軍は茲に壯烈なる閲兵式を行ふ整々たる軍馬中央大街より昭德大街に整列し砲車鐵路大街に及ぶ其順序は步兵山砲野砲重砲にして蜿蜒たる長蛇天地を呑まんとするの觀あり鏘々の步武堂々として天に轟き砲車の響き轟々として地を撼かす劇喨たる喇叭

### 輝々たる劍光は

奉天全市カーキ色の服を以て埋まる午前九時半○○長は肥馬に騎つて全隊の下檢分を行ひ右終るを待ち○○○長騎馬に跨つて多數の幕僚を隨へ漸次閲兵の式に移る憂々たる馬蹄東西に往き交ひ各部隊に向つて注意！閲兵官の一列は

### 悠々其間を練り

奉天練兵場を背にしたる衛生及び輜重輸卒の各部隊を閲兵し奉天寺前面に於ける高丘上に馬を立て左右幕僚に取卷かれ支那側の參觀武官第二十九師團長吳俊陞五十四旅長張作相張作霖巡閱使代理張濂卿其他高級

### 武官文官等整列

し日本側奉天總領事菊地顧問其一般來賓在鄉軍人小學校生徒南滿中學堂及び南滿醫學堂生徒其他日支觀覽者を以て埋められたる前面に於て分列式に移り各部隊の行進始まるや劇喨たる喇叭と共に周圍の房のみ昔日の

### 武勳を語る名譽の

### 軍旗を眞つ先に

隊伍堂々前記の順序によりて旅團長の前を過ぎ行く勇ましき光景は感極まつて思はず襟を正さしむ分列式は一時間以上に亘りて行はれ最後の偉力ある重砲隊にて終りを告げたるが同時に○○團長は馬を下り幕僚及び支那武官に

### 敬禮を交し更に

其横に參觀せる赤塚奉天總領事其他在奉官民と握手し夫より宴會場なる奉天神社境內に赴き社前枯芝生の周圍に紅白の幔幕を引繞らしたる宴會場に於て多數の將校連の斡旋に冷酒の祝杯を擧げ○○○○長は

### 官民の厚情を謝

し之に對して支那側を代表して吳師長の答辭于冲漢に依つて通譯され酒三行主客共に耳熱するの頃ひ赤塚總領事の發聲にて帝國陸軍の萬歲を三唱し續いて○○○○長の發聲にて在留邦人の發展を祈ると同じく萬歲を三唱し歡談裡に散會したるは午後一時半頃なりき奉天郊外の秋草爲めに一段の芳香を添へたり(奉天)

◆吉林の日本人(六七百名)　吉林領事館警察最近の調査に依る在留邦人數は戸數二百六十戸人口男三百九十二名女二百八十七名合計六百七十九名にて前に比し戸數五人口二十九名の增加なり尚ほ特產出廻り期に入らば更に多數の邦人入込むべしと(奉天)

## ◎北滿木材の盛況

南滿各驛荷支への楮果荷積土等等に枕木の多數を要し吉林方面に於て目下盛んに伐出しに着手しつゝあるが昨年に比し本年は優に三倍額の伐出しを見るべく某實任者の談に依れば統計上未だ的確なる數字を得ざるも昨年伐出し額一千車を算したれば本年は其の三倍額之を噸數に見積り約六萬六千噸に達すべく本年度は現在此冬期間のみにて鐵道枕木の需要約一千車にして目下吉林驛に於て發送準備に取り掛りつゝあるて木材のみにても八百車を算すと云へば北滿材木の盛況知るに足るべし

## ◎製鐵所(續)

八幡製鐵所長官　白仁武氏談

二瀨炭山は明治三十二年より同三十四年に亘りて之を買收したのである其の鑛區は三百二十八萬千八百六十五坪餘にして一箇年六十五萬噸を採掘するのである、此の中に於ける約三十五萬噸は骸炭原料であつて他の三十餘萬噸は燃料として使用してゐるのである

### 外部より供給

を受けつゝある石炭は骸炭原料としては開平炭十一萬噸本溪湖炭三萬噸及び內地炭二十三萬噸である燃料としては內地炭三十七萬噸を用の石炭使用量計は約百三十九萬噸に達してゐるのである給水設備に就ては八箇所の貯水池を有し

### 其の貯水量は

三十五萬九千立方メートルである又遠賀川及び板櫃川を分水して敷設したる水道は毎一分間に約四十立方メートルの送水量を有してゐるのである汽力、電力、瓦斯力及び水壓力の四種を併用して原動力として汽罐二百十基によりて運轉せる汽機百二十七臺(約六萬五千二百馬力)及び鎔鑛爐

### 排棄瓦斯に依て

運轉せる瓦斯機關二臺(約二千三百馬力)を設備してゐる其總馬力は實に六萬七千五百を算するのである蒸汽原動力は約四萬七千三百馬力を直接動力として汽機百十一臺に約四千九百馬力を水壓力發生用として喞筒機十臺に及び約一萬三千馬力を

### 電氣發生用と

して發電機六臺に使用し瓦斯原動力は約八百五十馬力を直接鎔鑛爐送風機一臺に約千四百五十馬力を發電用として發電機一臺に使用してゐるのである

他力は前述の發電機七臺に依つて約一萬二千四百馬力を發生し別に九州水力電氣株式會社より約三千六百馬力を購入して以て電動機千五十八臺(約三萬六千六百馬力)を運轉し尚ほ電氣爐四基(約千九百三十馬力)並に電燈一萬八千三百八十個(約千四百馬力)を供給してゐる次第である生產設備及び能力に就ては何れ詳しい表に依つて發表することにして各製品其の他の貨物運搬の爲めには吉林丸、嶺南丸の二汽船を所有してゐる此の噸數は合計二千八百六十七噸であつて此の外近海運送に從事する小形の汽船七隻を有してゐる此の噸數は二百十四噸である沿岸繫船場は延長約五百七十間に達してゐるのである其中三百五十間は干潮面二十尺の水深を保つて約五千噸積の汽船の繫留する事が出來るのである

## 慶北共進會

### 協贊會事業と設備(續)

協贊會長　中野大邱府尹談

◆新聞縱覽所◆　是れ新聞縱覽と共に無料休憩の場所に充つるものにして朝鮮民報社と鈴木合名會社大邱繩工場の共同經營に係り一般縱覽者の爲めに開放せらる構造は間口、奥行各五間總建坪二十五坪にして全部白堊塗四方開きとし展望に便ならしむ、所內には卓子椅子を備へ內外數十種の新聞雜誌を蒐集して縱覽に供するの外給仕女をして茶の接應を爲さしむ、位置は會場の後方甲號即ち賣館に接し正面上部に無料休憩所の五字を浮き彫せる扁額を揭げ下部右柱に新聞縱覽所の看板を揭ぐるを以て會場を一巡せる觀客は快く小憩を試むるを得べし

◆即賣館◆　同館は大邱協贊會の開設經營に係り共進會出品及び參考品の販賣希望者をして館內に賣店を開かしむるものにして會場の後部に甲館及び乙館の二棟を設く、甲館は授產館に隣し構造廿間の延長を有し屋內兩側販賣店各六尺づゝの奥行に中央幅九尺の通路を設け各販賣店間口は一區二間づゝなるを以て總計廿棟の開店を爲し得べく乙館は場內最後部にありて演舞場に面して延長廿間奥行九尺の片側店とし同じく間口二間を一區劃とせるを以て總計十棟の賣店を開くべし

即賣館使用申込は頗る好景氣にして今日既に滿數に垂んとする盛況なるが其の重なるものを擧ぐれば中邱の木製品、野菜料理器、金物類、打刃物、煙草製品、教育玩具及び賣藥品、各種蔬菜の種子及び農具商、乙館の英國式網子、特許品、電氣機械等にして不日方面より牧畜其他數十點の木製品の大口申込ある筈なり

◆右の外◆　演舞場に隣して會場出口に接し郡島協贊會の即賣館設けらる同館は側面道路に添ふて延長十間奥行九尺の構造なり、本道內各郡及び鬱陵島の生產に係る出品は悉く同館內販賣店にて即賣さるべし

◆飲食店◆　是れ場內に於て觀客其他の需要に便せん爲めに設くるものにして場內の最後部右端を以て其區域とす一棟各間口三間奥行五間とし五棟を排列し其種類は西洋料理、普通日本料理、簡易辨當、鰻飯蕎麥、鮨、汁粉、團子等の各店を集中し一般に對して如何なる需用をも滿足せしめんとするものなり、尚ほ此の區域の終端、休憩所の出入口には櫻ビヤホールを設け場內飲食品の供給と相俟つて遺憾なきを得べし

## ◎便利になつた慶州行の輕鐵

新羅の古都へ直ぐ行ける

朝鮮輕鐵大邱、浦項間線は豫て其工を急ぎつゝあれば豫定の如く遲くとも來る十月廿日頃迄には開通を見ることゝなるであらうと思はれるが彼の有名なる新羅の舊都慶州までは先頃既に之が開通を見た記者は未だ親しく慶州の地を踏むの機に際會せぬけれど先般大邱記者團例會の際同業諸子と共に此の區間の輕鐵試乘だけは爲すことを得た、鐵道に限らず凡そ交通機關の整備が地方の殖產興業を助長促進せしむるは固より其他經濟上にも多大の影響を與ふることは今更喋々する迄もない事で從つて本區間の開通によつて既に從來とは著しき變化を來しつゝある事と思はれるが其等の關係に就ては他日更に詳密なる報導を爲すの機會のある事を信ずるが故に記者は此際は特に其等を除外して單に古蹟調査、名所舊蹟探勝等の上に本線が如何に多大の利便を與へたかに就て考へて見たいと思ふ、慶州は史上最も著名なり、其附近に於ける名勝古蹟は以て諸種の資料に供すべく學者も文士も乃至は畫家も詩人も一度足を朝鮮に踏み入れたる程のものは孰れも此の古都を訪はむことを希ふ所ならんが如何にせん從來交通の不便なるが爲め其志望を抱きながら空しく其目的を達し得ずして立歸るものが尠くなかつた事と思ふ、然るに今次此の方面に對し交通の便が開けたといふ事は大正の人士に取つては頗る幸福と謂はねばならない此の意味からいふと普通一遍の交通機關が備はつたが爲めに受くる各種の利福以外、より一層意義ある綫と謂ふ事が出來よう、記者は從來慶州の地が史上に著名なる古蹟であることを熟知しながらも尚且つ交通の不便なるが故に親しく其地を訪ふ事を躊躇しつゝありし夥多の人士が今後必ずや機會ある毎に本線を利用して或は史蹟を調査し、或は詩題を捉へ以て社會に多くの神益と貢獻とを爲すあるに至るであらう尚附け加へて置きたい事は本線は輕鐵とは云へ比較的乘心地も好く且つ今回の新區間に對しては特に當局に於て嚴密なる檢査を行つた末開通する事となつたもの故毫も危險の虞はない、在鮮人士にしても來るべき慶北共進會見物を志望せらるゝ諸士は是非共其機を利用して同地にも一遊せむことを勸めて置く

## ◎油斷も隙も

◆ならざる獨探の跳梁◆　近頃奉天を中心として各地支那電報局の解し得ざる暗號により電報を用ゐて商事又は私事に託し頻りに軍事情の機密を敵國又は敵軍に通信する獨探多しとは油斷も隙もならざる世の中といふべし(奉天)

## ◎鐵槌で毆て　七千五六百圓

◆十餘名より成る馬賊團◆　滿鐵四平街北三條路支那雜貨商裕慶亨方へ去る九月二十八日午後五時頃十餘名より成る馬賊押し入りたるが內五名は拳銃を店員等に擬し他の二名は兇器を携へ一同に電話機を取外せしが折柄同店にては店員の一人が貸揚金の勘定を爲し居たる所賊の一名は鐵槌を以て其店員の頭部に一擊を加へ怯む隙に乘じ押し入り金櫃より金銀紙幣及び支那銀子三十六元其他にて七千五六百元のものを強奪し尚ほ拳銃五六發を放ちて脅し付け悠々として引揚げたるが立去る時店員に向ひ若し此事を訴へ出るが如きことあらば一同鏖殺しすべしと云ひて立去れり尚ほ此時戶外には三名以上の見張番あり一樣模樣なりといふ因に同店は店員三十六名を使用せる此地大一流の商舖なり(四平街)

## ◎誹毀の告訴

◇釜山日報二名起訴◇　◇其他は不起訴となる◇

過般釜山日報所載の『叫!!非國民』と題する事件は小原偶氏より釜山地方法院へ府廳太田書記、中野強助氏及び釜山日報社員二名を相手取り名譽毀損の訴へを起したるが調查の結果太田書記並に中野強助氏は不起訴となり釜山日報社都中記者及び編輯人濶上重治氏のみ起訴されたり其の理由は記事を載するに際し小原氏の側に付精探せず且つ小原氏の迷惑少からざる事を是認し乍ら記載したるにありと云ふ公判は來月五日午前九時より釜山地方法院に於て鹽澤判事、淺田檢事の係りにて開廷すべし、而して釜山日報社にては兩氏の辯護人として本木辯護士外釜山の辯護士の殆んど全部を依賴する由にて傍聽者も多かるべしと(釜山)

## ◎浦鹽通ひの石油發動船　輕便に清津から

近來清津浦鹽間に小型石油發動機船の運航頻繁となりしが該小型汽船は多く漁業運送を主とし使用し來り南鮮及び內地方面より來りたるもの多く現今清津を中心として浦鹽及び露領沿岸に通航しつゝあるもの四隻あり其運航度數は月約六回往復平均なり而して其積荷は往航は多く魚類、石油、煙草、砂糖、酒類等にして軍需品多數を占め復航は主として古鐵類なり(浦潮)

## ◆奥の土産話―滿洲里―

### 日本人義勇兵が御用商に早替

### 荷を持てゐた商人は大層な儲け

酒が一升二圓四十錢で酌婦の收入一日二十圓に及ぶ

今回徵募に應じ或る任務に服したる後解職せられて歸來せし軍役夫の談に曰く滿洲里は露國住民八九千人、支那人五六千人、日本人四五百人合計一萬四五千人であつて其大部分は商人である尤も露國人には官人もあるけれども騷亂以來官を抛つて閑居して居るものが多い教育機關は幼稚園から中學程度の學校まであり高等教育を受けるには各大都市に向つて出なければならぬ衛生思想の如きは皆無である爲め市街の如きは敢て顧みるものなく甚だ汚穢なる市街である宗教は甚敬ミマホメット教でよく信仰して居る樣に見ゐる農業は甚だ不振である爲め農產物甚だ尠い工事も甚だ振つて居ない滿洲里で

### 一番苦痛を感ずる

ものは燃料である燃料は薪と石炭であるが石炭は化石である爲め少しも燃えない水は大きなタンクが四五あつて清冽なる水道が敷設せられてあり水には甚だ富裕である通信機關としては支那二等郵便局があるだけ電報を打つは滿洲里驛の

### 露國電報を使用し

て居る我に奉天邊で募集しセミヨノフ軍に屬して活動した義勇軍の死者を驛より一町程隔たつた或地點に義勇軍忠魂碑を立て祭祀してある又健全で解散した人達は義勇商會なるものを造り露軍の御用達をして居る日本人雜貨は哈爾賓より供給されるのであるが輸送の都合上一般に缺乏を告げて居る爲め凡て缺乏し日本

### 麥酒が一本九十錢

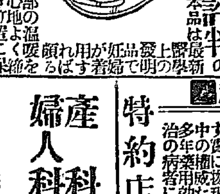
酒一升二圓四十錢他物品は十割乃至二十割高である又同地には日本料理屋五軒酌婦五十二人露國側二軒廿人支那側五軒十九人で何れもよく繁昌して居る同地の酌婦は大抵前借四五百圓から一千圓位で抱へられたのであるが義勇軍の進出以來甚だ繁昌し一日二十圓位から少いので十圓位の收入であるから

### 互に借金は返濟し

今では甚だしいものは千圓少いもので二三百圓の貯金をして居るそれで此頃更に賑やかになり歸國を望むものはない有樣で又日本商人等も相當の荷物を持つて居るものは何れも暴利を占め盛んに哈爾賓へ往復し少許宛の荷物を持ち行く一攫千金を講じつゝあると(奉天)

### 台所　其の日ぐらし

◆酒蒸肉◆　鷄の肉に鹽をふつて姑く置き、鍋に酒を沸騰してその中に肉を入れ强い火で三四十分間煮沸し箸で掻きまわし、鍋をおろし粉山椒をふりかけて出す、後の酒は捨てずに吸物などにつかふ

甲式　安產いわた帶

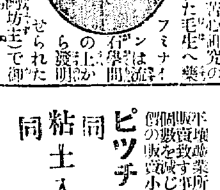
評判の本品は最新醫學上の發明品で妊婦が着用すれば頗る

暖かで常に腹部の溫暖を保ち、腹部を心地よく保ち胎兒を正しき位置にし妊婦の動作を自由にし苦痛を除き流產や難產を豫防し安產が出來て產後の經過亦至て良好で▼如何なる妊婦でも一度使用すればキット安產　御締め用を乞ふ

定價　▼一號(特製)三圓四十錢　▼二號(上製)二圓五十錢　▼三號　一圓十二錢　送料內地十二錢　外地卅錢

東京本鄉春木町二丁目卅四　製造元　田中商店　振替東京三八〇一　電話下谷四〇七二

木炭購買入札　詳細ハ朝鮮官報ニアリ　九月三十日　第十九師團經理部



こうすれば毛が生へる

△毛の生へる原理△說明書無代進呈

毛を生やすことは出來ないと斷念たは昔の事今は文明の今日適當の療法を行へば毛を生やす位は何でもない現に東京帝國大學醫科大學皮膚科教授醫學博士田中友治先生は毛の無い人又は生まれ附き毛の薄い人達に深く同情の餘り永年苦心研究の末此度發見創製せられた毛生へ藥フミナインは流行性間歇熱の後の上から發明せられた奇藥だけに禿頭病、若禿坊主で御困りの人、毛の薄い人、毛の脫ける人、婦人によくあるかもじ禿、眉毛の薄い人、生へ際のわるい人、腋毛恥毛の禿た人其他一般あるべき所に毛の無く人知れず悲憂して居る人々、多くの男女を助けるための專門藥で何人が用ゐても奇妙に毛が生へ又脫け毛を止める靈妙なる效果がありますどなたでもフミナイン本舖東京芝愛宕町二ノ一東京藥院へハガキで御申込になると毛の手當や毛の生へる理由其外フミナインに付いて分かり易く書いた說明書を封書で送られる

需要多く收益莫大の　藥劑師　となる最近道

◇試驗廢止愈々切迫　◇此際合格を得よ!!

文部省藥劑師試驗は大正十年限り廢止せられんとす收益莫大にして需要益激增せる藥劑師となり立身出世を望む諸君は文部省藥劑師試驗委員及び藥學士專門大家が執筆せる東京藥學講義錄を見よ續々成功しつゝあり藥學生は勿論業務の餘暇でも充分その目的が達せらる講義錄の見本と會則は東京神田三崎町三丁目東京藥學會へハガキにて申込次第無料進呈する此際大特典あり(至急を要す)

小島捕鳥用　カスミ網(極上絹糸製)　◎其他雁鴨鳥網類種々あり

高さ六尺　横巾三間　一圓二十錢
高さ六尺　横巾五間　四圓

京城本町二丁目　吉備商會　電話二一四番　振替京城三三番

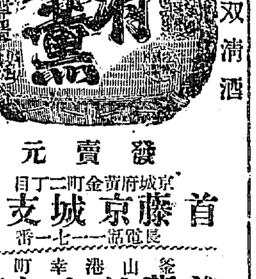
登錄　八千代足袋　毛織物類製造　帽子洋服靴旅行具鞄馬具革具調革類　陸海軍諸官衙御用達　商標

◎製靴　◎鞄部　◎擴張　◎防寒靴　◎學生靴　◎紳士靴　◎特價提供

香川縣善通寺　千葉商會　長電話二三　振替口座大阪一二九五

周易　家相　京城明治町二丁目　岡村介石

醇良無双清酒　衛生無害品質無双




發賣元　京城府黄金町二丁目　首藤京城支店　電話長一七一一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　電話長三四三番

謹告

平壤鑛業所製造無煙煉炭は個數及價格とも其筋の御指定に基き販賣致す事に相成居り候處昨年以來各炭の暴騰に乘じ規定以外高價の販賣小賣店有之哉も難計左表以外高價に販賣致す小賣店發見の節は乍御手數弊店迄御通知被成度願上候

ピッチ入煉炭　千二百個(一噸)十五圓六十七錢
同　五十個(一箱)七十二錢
粘土入煉炭　千二百個(一噸)十三圓六十三錢
同　五十個(一箱)六十三錢

平壤鑛業所無煙煉炭特約店　京城古市町(電話九四二)　苦米地商店

模造品續出乞御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイクルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用したる治療器にして使用後直ちに脈搏の整調强盛を感じ疾病の根元を絕滅せしむるに有效なる偉力を現すべき物理療法中の權威たり特に多年藥用效なき難治の病者に薦む

效力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず使用簡便にして何等の危險なく婦人子供も容易に使用することを得　リウマチス　脚氣　神經痛　胃腸病　腦病　神經衰弱　肺炎　肋膜炎　其他諸病に偉大なる效力あり實驗者の報告書は申込次第無料贈呈す

定價金參拾九圓　大日本東京市麴町區有樂町一ノ三　オキシパサー商會　電話本局二六九七　振替東京三二八一二

特約店　京城本町二ノ七一　酒本高明商店

產科　婦人科　二宮醫院　京城寄町　電話一二〇一番　醫學士　二宮亮吉

當銀行ハ預金貸附爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行　振替貯金口座京城三三三番　電話六〇一・六〇三

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、鎭南浦、新義州、安東縣、奉天、大連、旅順、長春、開原、四平街、遼陽、鐵嶺、哈爾賓、吉林、龍井村、鄭家屯、上海、天津、青島

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

# 商況

**東京期米特電** 一日前場 三十一圓九十九錢 一日後場 三十一圓三十錢

**兵庫期米特電**

**大阪株式特電** 宇治川水 大阪電燈 東洋紡績 合同紡績 鐘淵紡績 東洋製鐵 大阪商船 日本郵船 東京株式 大阪株式 堂島米穀

**大阪三品特電** 日後場 九月限 四二、九〇 十月限 十一月限 十二月限 四三、五〇

**大阪期米特電** 一日前場 二節 三十五圓二十錢 三節 四圓九十錢 一日後場 四十一錢 止め 四圓四十一錢

**雜報**

**●下關期米立會** 休會中の下關取引所は豫定の如く十月一日より立會を開始したるが同日前場は當限出來不申中限は賣物なかりしも買物殺到して結局四十八圓の手合せあり新甫十二月限四十四圓で遂に四十二圓を呼ぶに至りしも之に對し賣向ふ者なく取引所理事は中先の商內は正當にあらずとし認帳大混亂を呈し其の結果は證據金百石に付三百圓に引上げ更に立會時間を定刻より三十分延期し後場に移したるが後中限の出來不申新甫三十六圓四十九錢より節々低落し三十四圓三十六錢と大暴落し三十四圓三十六錢と打止め後場も三十四圓九十錢より高値九十五錢安値四十錢ありて八十錢と散せり人氣は値頃の賣叩きあるも買氣尚旺盛にて大浮足なり

**●綿布需要閑散** 大阪三品昨今後場は當限四百二十六圓九十錢を唱へたるが尚一方には當限三十四圓拔きの人氣あり綿布は三銘先物十四圓七十錢さし又た賣りの報にて當市中も人氣依然强硬にて手持筋大に強張り三一號は四百四十圓唱へにて實物薄の市況は不味にて殊に大豆の不引合立ちは農家の手元に狂ひを生じ購買力が落め減殺の傾きあり今年の需給の如何によるは勿論ならんも相當の高値に達せる綿布に於ては北土市價の向上止まるに於ては一般の需要減退は免かれ難かるべし

**●正米更に高し** 仁川定期は始政記念日休み中內地新市場發會は案外の高値を出し之が爲め同市場は堅調上引緩きの勢を示したるが各地に於ては何れも內地市價の高値に附隨すべく買人側に追々一部鮮內日精米筋の買進みあり市況は益々

**高模樣** にて今朝の標準は日本米玄米三十一圓七十五錢次品三十一錢花米種三十一圓五十錢にて前日に比し約四五十錢高の見當となり事實は此邊折合ひ困難なるもの、如く殊に內地仁川を始め各地より白米の買注文絶えざる等目先品薄と傾つて更に幾分引締め模樣なり

**●石油値上か** 石油は既報滞貨の如き成行きにて內地市場は更に値上げの通知あり技術相場らず貨車無くの爲不良にて其後見るべき販賣店側には品切れを唱へられつゝあるが近かく何分かの入荷あるべく會社側の仲し同時に又値上げ斷行も迫まれるが如し

**●鮮白漸く進む** 鮮白は此四五日來實行き不良なりしが原料高により本日は相應買進みありしも相場の變動する迄に至らず併し玄米に比し割安なるを以て眼先高構へなり

**●白米强含み** 本日人向白米は一時對高なりしも共後原料の昂騰に連れ昨今不引合の採算となり且つ內地其他より續々注文入込みつゝある際とて現狀維持困難な模樣なれば近く幾分の引締めを見るべし

**●錫價低落す** 錫は本國の輸出禁止影響によりて價格昂騰を重ねしが最近に至り本邦來荷過剩の結果は氣配一轉軟化して約十圓方相場暴落し市中値二百七十三圓を唱ふるに至りしが眼先尚多少引下げ見込みなり

**●黄燐々寸頭打** 燐寸は軸木の缺乏に因る暴騰に工賃其他の生產費高と支那方面よりの買煽りに依り內地相場は既に定の六十二圓內外迄昂騰せしが

**●瓜糖白双下落** ジャワ白双下落價格は七ギルダー五十錢にして其後値を保つも海外への輸出步合は同値なるも業者は之を恐れて相場も漸落氣調となり目下一段の安値を見るに至るべし

**京城正米市場** 內地及び鮮內地方よりの買注文絶えざるに原料は寶物益減少の一方を示し買入の需要と精米筋の買進みにより氣配頗る強く 夫れ以上高値に 四五十錢或

**南大門廻穀**

**仁川正米** ▲穀の入津少なし ▲正米は大阪期米の大暴騰を受けて商人側も鳴へ居る賣物薄

**●各地商況**

**下關相場**

**京城日丸市場**

**生魚市場**

**仁川期米** ▲新市場休會 昨一日は始政記念日に就き例年の如く休業し

**二十四錢の上鞘** 發會になり後場止に至つて

仁川米豆取引所仲買人 **大仲買店** 電話長四〇四番

**十一月限三十五圓二十六錢**

**更に熱狂的大暴騰**

**證據金整理の爲め臨時休會**

**▲增證徵收**

**臨時休會**

仁川米豆取引所仲買人 **志 仲買店** 電話二八二番

**市場雜觀** 十月二日

**一錢高七十圓**

**新甫二十五圓**

**二十錢と三十四**

**錢上鞘發會**

仁川米豆取引所仲買人 **大五仲買店**

**狂熱的暴騰を報じ新甫發會更に**

**久原株**

**白米小賣値** 一等白米 三十八錢五厘 二等白米 三十八錢

**青物小賣値** さつまいも 五〇 だいこん にんじん ごぼう ねぎ なす きうり ほうれんそう しそ ふき

**針と變** 積極的方

**如何なる程度に迄昇騰へ相續**

**米價の暴騰は果して致る不自然極**

**法令の權威何**

**北濱たより**

# 毛谷村六助 卅六番角力

第廿三席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

前日に御披露いたしましたる彼の京極內匠でございますが、私欲の爲天下の名士中國の盛蹟と云はれた吉岡一味齋を討果して妾を隱し西海道豐前の小倉へ參り、名を微塵流の祖彌正秀と改め、城下の…まし、主人を招で 微『時に亭主、少し尋ねたい事がある 亭『何んでございます 微『此の毛谷村に六助と云ふ士民が居るさうだ、それは一寸相當に劍術が遣へるといふことであるが左樣か 亭『へヽエ、相當に遣へる處ではございません、六助といふ人は大した方でございます、御家中の御方々が皆御門人でございます、御指南番さへ頭が上らぬ位 微『そんなに偉いか 亭『偉いと云つて日本で先づ何の位な豪傑はございますまい、それで至つて物柔かな質で殊に親孝行、此の界隈で知らぬ者はございません 微『ウン、成る程』亭『貴下樣の前でこんな事を申し上げては濟みませんが、隨分諸國から武藝者がお出になつて試合をしましても一人として勝つ者はございません、是は親孝行と云ふ心中大丈夫に籠るので打込まれて逃げて參ります

微『ハテナ』と是は聞きは出して尋常の勝負では迚も勝つ見込みはない、然し大の親孝行と聞いて是は一番君子道を以て欺く時は欺かれん事もあるまいと性來奸智に長けたる微塵彌正だけに早くも思案を巡らしまして長崎屋方を立出小倉在へ入つて參り、半里ばかり來るともう日も西山に傾きかけて來ましたが、見ると山中の一軒家と見ゑまして軒下に十足許りの草鞋を吊しまして、一文菓子が少しばかり箱に入れて並べてございます、全く峠を往來する者が休む茶屋と見ゑます、年頃六十三四になる老婆が頻りに茶碗を拭いて居りますから 微『免せよ、茶を一杯くれ 婆『入らつしやいまし、何うぞ此方へお掛下さいまし、今日は洵に結構なお天氣でございます、旅をなさるにはお天氣でなければいけません』老婆『こう云ふ山の中ですから旦那樣の御口に合ふ樣なものは御座いませんが、一ッ御上り下さい』と樣を左の手に持つて

彌正の顏をさも不思議さうに見ましたから彌正もハテナと思ひ 老婆『小腰を屈めながら若や人違ひでしたら御勘辨を願ひますが旦那樣は香春の京極の坊樣では御座いませんか 微『如何にも京極內匠の倅良七であるが何うしてお前は知つて居る 老婆『オヽ坊ちや樣で御座いましたか、お懷しう御座います、乳母であつた… 坊ちや樣に御乳を差上げました 微『珍らしい事があればあるもの、乳母の里で御座いました 微『坊ちや樣は廢して呉れらう、身共は最う三十だ 老婆『アヽ早いもんです、三十にお成りなりますか、成程指折り數へて見ますれば二十八年前旦那樣の所へ參公しまして、私が三十四の時で御座いました、月日の經つのは早いもので、して今何所に御出で御座います 微『實は暫く振りで當小倉へ參つたものだ、名前も微塵彌正と云つて居るのだ、お前は悴でもあるのか 老婆『ハイ旦那樣にお乳を上げる前に儲けました五郎八と云ふ今年が二十八になります』

三丁目鐵道家小川光次郎氏は木炭の産地たる通遼堡地方に於て木炭五萬斤の買占を爲したりとの風說より其筋の注意を受けたるに憤慨し九月二十九日より三日間一戸に付十貫目を限り無代進呈の廣告をなしたり

▲木屑品切暴騰 安東縣に於る各製材所より賣り出す木屑は薪炭の代用として需要が多かりしも其價格は一挫十四五圓位なりしが本年の昨今は二十四五圓を稱へそれにても却々手に入らぬ有樣なりと

▲薪材搬出制限 安東縣に於る薪材價格の昂騰は別項の通りなるが對岸新義州に於ても同樣の苦情ありしより薪材搬出制限に關し種々研究する處ありて其筋に要望を爲したる由なれば安東縣にても實行を防止するやう官憲有志當業者の妥協を希望する投書頻々たり

▲小倉領事出發 鐵嶺領事小倉鐸二氏は家族引纏めの爲め來安中な

## ◎安東縣近事

▲白晝支那泥棒 二十七日午後二時頃安東縣市場通り八丁目酒井玩具店へ二名の支那人來り買物をする風を裝ひ妻女の油斷に乘じ在中金二十圓の手提金庫をフンダクり跡白浪と消え失せたりとて其筋へ訴へ出たり

▲倶樂部觀楓會 安東倶樂部の同人は秋期總會を兼ね十月初旬の日曜日を卜し鳳凰城に觀楓會を催す由因に同地近信に依れば紅葉は日に日に濃艶を加へつゝあり見頃は十月中旬頃なるべしと

▲木炭無代進呈 安東縣四番通り

▲鳥飼氏出發 鴨緑江採木公司理事長鳥飼氏は二十九日午後九時四十分發列車にて赴任したり停車場には多數官民の見送り盛なりし

十月四日 九星 舊八月三十日 甲申 本命四綠 開 先勝

▲四綠 高飛甲に來る ▲北方は吉 ▲二黒 ▲六白 平調の日午前不調 ▲七赤 一家の日 ▲八白 ▲九紫 ▲三碧 ▲一白

# 演藝案内

▲日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 **大正館** ◎軍事活劇『國敵』全四卷 ◎新派悲劇『女氣質』全四卷 ◎舊劇『彦左衛門の隱密』

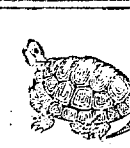
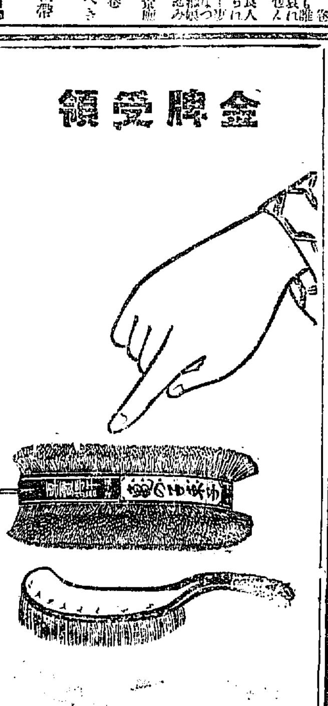
本町三丁目 電話五五七八番 **壽座** 來る十月五日より開演 日本一節劇元祖浪花政吉一行 想員六十餘名大一座

天然色活動寫眞 京城本町 電話(晝間)二二六六 (夜間)二二六七 **黄金館** ◎疑問の死 全四卷 ◎先驅の叫び 全六卷

明治町二丁目 電話長二六〇番 **浪花館** 九月二十一日開演 京阪落語若手大一座 落語、手踊 三遊亭 笑福亭 桂 三遊亭

本町一丁目 電話一〇五〇 **壽館** 浪界新進之秦斗京山愛虎大一行 當る十月二日(四日目) 落語 國定忠次 女大學 探偵之苦心『絹』 中山安兵衛婿入 吉良邸間者込 二席 京山愛虎 京山愛若 雲井重友 京山青海 中村錦奴

東京小林商會活動寫眞 手代理店 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 **有樂館** 電話(南七)五九七番 當る九月廿八日より公開プログラム ◎活劇 快擧 全三卷 ◎情緒劇 春の夢 全六卷 ◎探偵活劇 第二灰色の幽靈



金牌受領

ニッポンの龜の子束子

「龜の子たわしの如き結構なものがあるのに日本人はナゼブラシのようなものを使ふのか知ら」と理性に富むだ外國の婦人は衷心から龜の子束子を賞美し戰爭中諸工業の衰へた歐洲で龜の子束子を家庭唯一の重寶品としてあらゆる方面に使用されつゝあります。

『何はなくとも臺所には龜の子束子』とは家庭の標語でございます。魚鳥肉を盛つた器の脂肪を落すに早く飯櫃其他炊事器に粘着いた殘留物を洗ふに妙、其他流し場・洗面所・浴室の洗滌用としては素より洗濯の際用ひて垢を清めて水乾き早く品質を傷めずブラシ並石鹼の代用ともなる日本でタツタ一つの龜の子束子。

將來發賣する本品には衛生上一々嚴密に封緘せる滿洒にして優美に一見龜の子商標の何人にも分明なる包裝を施したわしを束子と漢字に改めたり。

本舗東京 西尾商店

伯爵 土方久元 外務大臣 後藤新平 閣下 題 序
貴族院議員 德富猪一郎
帝國大學教授 芳賀矢一
法學博士 上杉愼吉 理學博士 岸上鎌吉
法學博士 井上辰九郎 工學博士 三好學
男爵 阪谷芳郎 工學博士 寺野精一
法學博士 添田壽一 工學博士 山川義太郎
文學博士 田中義成 工學博士 伊東忠太
文學博士 吉田東伍 工學博士 鳴居武
文學博士 萩野由之 農學博士 外山龜太郎
理學博士 五島清太郎 醫學博士 三宅秀
理學博士 谷津直秀 醫學博士 大澤謙二
醫學博士 二木謙三 文學博士 井上哲次郎 法學博士 井上友一 工學博士 大河内正敏 法學博士 小山 信 工學博士 根岸政一 理學博士 高橋堅 理學士 國枝元治 安田銀行 安田善次郎
廿七大家

# 現代碩學 百科說林

△金融の話 △通貨の話 △電車の話 △建築の話 △鐵道の話 △傳染病の話 △道德の話 △天文の話
△瓦斯の話 △自動車の話 △飛行機の話 △新史用の話 △海中の話 △牛物の話 △動物の話
△國民教育の話 △呼吸の話 △生物進化の話 △三部制の話 △帝國史の話 △地理の話 △生物の話 △水力發電所の話
△個人及家族の話 △經濟の話 △人生の話 △電氣の話 △身體の話 △家庭の話 △自治の話 △國民の話

特價二圓五十錢(定價三圓) 總クロース製 菊判總紙數約千頁 郵稅外地十八錢內地十五錢

◇大賣捌所◇ 京城大和町通り二丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇

第五版

京城日報

本紙定價 一ヶ月金五拾錢 ▲六ヶ月前金貳圓八拾錢 ▲一ヶ年前金五圓五拾錢
廣告料金 五號活字一行金一圓 ▲二號活字同二圓 ▲四號活字同一圓五拾錢 ▲六號活字同一圓
發行兼編輯人 小川三之介　印刷人 峽田直登
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 營業部 編輯部 工場
振替貯金口座 京城 二三〇〇番

## 京城日報　朝鮮殖産銀行の使命

朝鮮に於ける時務の急なるものは、十指を屈して數ふべしと雖も、就中經濟的施設を完全にし天賦の富源を開發するを以て、其の最たるものと爲すべし。由來朝鮮經濟界の貧弱不振なるは、各地其の匹類を見ざる所にして、例へば臺灣の如き同じく新附の封疆にして、其の面積人口共に遙に朝鮮に劣れりと雖も、産業の發達は、却りて上位に在り、各人富力の程度も亦朝鮮の比にあらざるなり。其の然る所以を繹ぬるに、天然の惠澤同じからざるものあるべしと雖も、數百年來惡政の下に棲息し、財力氣力共に枯渇し、全域の民纔に其日其日の生計を立つるを得れば、人生の望み之にて足れりとする如き、悲慘なる境遇に沈淪し、而も因襲の久しき、殆ど其の天性を成し、百般の事、皆委靡荒廢したるに職由せずんばあらず。此の如き狀態に在るの民衆に對し、教育衞生の向上、社會改良の急を說くも、果して何の得る所あらんや。古語に衣食足りて禮節を知り、衣食足りて榮辱を知るといひしは、陳腐の言なりと雖も、其の眞理を含めることは、眼前の事實之を證せり。朝鮮に於ける施政の最大眼目にして且つ其の最も急要なるは先づ其民を富ますに在ることは、何人も之を認むる所なるべし。新政施行以來、經濟狀況の漸次に改善せられ行くことは、年々貿易額の増加に徵して知るべし。試みに之を列擧せんに

| | |
|---|---|
| 明治四十三年 | 五九、六九六、五九九 |
| 同四十四年 | 七二、九四四、六三七 |
| 大正元年 | 八八、一〇一、〇六四 |
| 同　二年 | 一〇二、四五九、一九一 |
| 同　三年 | 九七、六二〇、二四八 |
| 同　四年 | 一〇八、六九一、六八二 |
| 同　五年 | 一三一、二五八、七三九 |

大正六年以後は未だ確知すべからざるも、當局の推算する所に依れば、本年度は約三億を超過すべしといふ。但し此の金額は物貨の増加よりも、寧ろ價格の變動に因るもの多かるべしと雖も、兎も角も逐次進歩の實績あるを認めざるべからず。將來此の好傾向を一層助長し、産業界の一大飛躍を期するは、實に殖産銀行の使命たるべし。頭取三島氏の言明を聞くに『殖銀の方針は積極的營業に在り、こは需用者の來るを待たずして、銀行自ら進みて調査を施し、斯業ある活動を爲すこととなり』資金の供給機關が、自ら進みて事業の獎勵發達を爲すが如きは、普通銀行のして爲すべきことにあらざれば、殖銀の如き特殊の銀行にして、加ふるに朝鮮の如き特殊の位置に在る以上は、此種の活動に出づるなくんば、其設立の目的を十分に達すること能はざるべし。何は兎もあれ、殖銀の設立は朝鮮經濟界に一大原動力を賦與するものにして、當局の指導と相待ち、各種の方面に至大の影響を與へ、從來委靡沈滯せる空氣を一新するや疑ひなし。吾人は此新勢力の門出に際し、長へに前途の幸あらんことを祈るや切なり。

## 朝鮮同胞に告ぐ(八)
### 日本旨義特に神道に就き
### 佛教の同化(上)

如上は我邦に於ける忠孝一本の旨義を明かにし、傍ら儒教の日本化したる一斑を示したるものなるが、獨り儒教のみならず、佛教にも亦同樣の事實あるを闡明するの要あり。

儒教の弘布は、日本在來の思想(神道)に大なる刺戟を與へたりと雖も、其間に格別の衝突を起すことなく、知らず識らず、渾然融和したることは上述の如し。是れ其の純宗教的ならざることが大なる原由たるも、又一つには儒教が本來東亞に發生したる思想にして、其の教ふる所の現世的なること、又敬天崇祖の事の如き、彼我類似の點甚だ多きにも由らずんばあらず。然るに佛教に至りては之と趣きを異にし、もとノーアリアン民族の間に醞釀せられたる宗教なるが故に、我が習俗と相容れざるもの少からず。且つ其の體系の整成せる哲學的組織は、動もすれば素樸なる我固有思想を壓倒せんとする勢ひを示したるを以て、之に對する反抗的運動の起りたる、蓋し止むを得ざるの勢ひなりしなり。卽ち當時の巨族たる蘇我、物部兩氏の鬪爭は、此際に於ける新舊思想の衝突に、權勢の爭奪を加味したる、一種の宗教爭亂なりき。而も蘇我氏は遂に優勝を制し、且つ聰明絶倫なる聖德太子の上に在るあり、佛教の扶植に全力を傾注せられ、政治的勢力と宗教的勢力と相協合して、徐々たる歳月の間に全國を風靡し、寺刹の設立、遂に其の極に至り、萬一致したるは、恐らくは世界宗教史上、稀に見る所の現象なるべし。而も之がために上は朝廷より、下は庶民に至るまで、神道に對する敬虔崇信の實は毫も渝はることなく、宗廟祓祇の祀典はいふに及ばず、歳時の行事、一に古典に依り、決して佛教勢力のために一蹴し去られたる如きこと之なかりしなり。此の事實は歷代の宣命詔勅、其他歷史の傳ふる所、現代の風習に見るも、歷然として甚だ明かなり。

古今東西を通觀するに、優勢なる宗教の一たび襲來するや、恰も燎原の火の如く、一切の舊物を擧げて焚き盡くさずんば止まず。古代の希臘羅馬は多神教の國なりき。其の優美なる神話傳說の如き、今に至るまで歐西人士の讚歎して措く能はざる所のものなるも、基督教の傳播と共に、此の古典的宗教は、泊然として其影を沒し去り、オリンパスの靈山は、空しく詩人の頭に殘り、ジュピターの殿堂は坊廢に委して、其の殘礎すら尋ぬるに由なし。蓋し人事変遷の變、之より大なるものはあらざるなり。思ふに佛教は其の宗教的價値に於いて、遙に基督教の上に位す、其の鬪爭にして整齊、精緻にして巧妙なる組織を以て、素樸簡易なる神道に對する、いづれの方面より突撃するも、障壁を一蹴して、中堅の牙旗を拔くに難からんや。而も基督教が彼が如く、希臘羅馬の古宗教を根柢的に絶滅したるに反し、佛教は却つて神道と妥協して、自ら牽強の說を立て、其の弘通を便にせざるべからざるの事實を現ぜり。是れ日本神道が必ずしも希臘羅馬の古宗教に勝れるがためにあらず、國體國情之をして然らしめたるのみ。

## 時局と國民思想(廿一)
## 我が國民性の缺陷(前承)
文部省督學官 槇山榮次氏談

現下吾從來の獨逸人及び外人に就て見るも其持久力には實に感服の外はない。尤も内外の國民性質にも大いに關係はあるものゝ此點に就ては日本國民は非常に模倣力に富んでゐる何事も其似る事に就ては殊く程巧である汽車に汽船に軍艦に其他の諸機械に於ても甚だ巧に模倣して居るのみならず製艦術の如きは其進歩の程度に於て各國人をして驚歎せしめてゐる香港や上海に於ける支那人は大に西洋風の生活を輸入し恰も西洋のそれの如く眞似てはゐるものゝ何處となく支那人臭い處は未だに拔く事が出來ない是等に對して日本が西洋との貿易を始めたのは實に最近である然るに早くも西洋の風俗建築等あらゆる方面の模倣は東京市中に於ても或る所は恰も西洋に在る感を起さしむる程に巧に出來てゐる斯く迄模倣に巧なる長所は有してゐながら獨創といふ點に於ては實に歎かはしい迄に劣つてゐる此點に於ても大いに研究を要する然も獨創力の乏しいといふに留まらず只徒らに新しきを慕つて古きを捨つるといふ大なる缺陷を有してゐる尤も古きを頑固に守つて新しきを排することは國勢發展上の大禁物ではあるが新しきを慕ふ爲めに古きを捨つるといふ事も大に考慮しなければならぬ假令ば學校に於ける閱歷の如きや其他の日本固有の美術品にしても是を改善すれば優良なる物を作り上ぐる事が出來ようが西洋諸の輸入につれて是等日本固有のものを徒らに捨るといふ是も國民缺陷の大なるものであらう是等固有のものをも大いに改善し其發展に努めなければならぬ卽ち日本國民をして獨創力の發達を計るべく教育上大に研究する事が肝要である又我國華ともいふべき忠君愛國の精神に富んでゐるのは實に喜ばしい事であるが是と反對に公共心に乏しいといふことは甚だ遺憾に堪へない社會生活上に於て自己の爲めには他人の迷惑を敢て思慮に置かないといふやうな事は實に缺陷の大なるものである假令ば電車、汽車、汽船中に於て他人の迷惑を顧みず只自己の滿足にのみ心を留めて座席を占むるといふ是等が最もよく公共心の乏しいといふことを證してゐる西洋人の自己本意を嘲りつゝある日本人にして或場合には西洋人以上の個人主義を發揮してゐるが之れは甚だ矛盾である然も西洋の國體及び人情よりしても個人主義は當然である其個人主義たるや自己の權利義務及び他人の權利の別は實に明かなるものであるが我國の個人主義に於ては他人の權利を思はず自己の權利をのみ主張する實に不人情極まる個人主義である又共同作業の精神に乏しく假令ば或る官衙に勤めてゐる者がありとして其の者は自己の勤めてゐる官衙の事となれば心を用ひても他の官衙の事には一切耳をも藉さぬといふ樣な狀態で是等の例は數ふるに遑がない國民性の缺陷は斯る處にも遺憾なく露出されてゐる西洋の或る地方にては二つの學校に一つの運動場しかないがそれをしも爭なく仲よく使用してゐるといふ例もあり又學校などに於ける掃除なども各自の調理もないではないが多くは公僕にて爲させ共同作業の習慣を養つてゐる處もある是等の點に就ても大に研究を要する事で教育上改善の餘地は多々ある何れ講究の結果は多少にても此の缺陷を減ぜしめてゆくことが出來るであらう(東京支局)

## 邂逅　九
佐々木峯雪
### 虐待(九)

此意外の出來事に弟子の誰れ彼れも騷ぎ出した、親族一同も驅け付けた、いづれも手紙の文面を見て驚いた、紙紗の下にはほんの小さい紙片に手數ながら佐久間の旦那に斷つて返してくれ、わしは返すぐも殘念だと認めてあつたその紙片には三つ四つの涙の跡が滲つてゐた。

『兄上、嘸無念でやらう』庄五郎は其紙片を手にして云つた。

『お師匠もよく〱殘念に思はれたのでせう……』勝三はほろりとなつて、慄ふ手に手紙を摑んでゐた。

庄吉は相談の結果盟野の姉の久野の手へ預けられる事になつた。

『庄吉のお父さんは佐久間さん宅のお金を盗んだのだつて、それで遠い〱處へ行つて了つたんだつて』村の子供達は、庄吉を見る度に斯う云つて庄吉を泣かすのが常であつた。

『不憫さうに、親は無く其上に他の子供達に苛められて、ほんとに不幸な兒……』庄吉の泣いて歸つて來る度毎に、久野は斯う云つて貰ひ泣をした。

五歳の年もいつしか暮て、味氣無い日は一日〱と經つて、久野の慈悲の手に育てられて、早くも庄吉は七歳になつた。不幸な庄吉の身には又も不幸が廻つて來た、それは親とも賴んだ久野の上京する事であつた。

久野の夫利雄は、或社の地方部に廻されて金岡村に住つて居たが今度圖らず本社の方へ轉ずる事を命ぜられて、夫妻相携へて上京した、久野は其故郷を立つ時、庄吉の身を舅の惣兵衞に賴んだ。

『よい〱心配するが程のもんぢや無いわ、乃公が庄吉は引き受けた』と快う承知の旨を答へて、

『其代り月に十兩位は酒代を送つて吳れるぢやい』と笑つて云つた。

『そりや酒代位はね、お好きなんだから』と久野も頷いて、庄吉の身を諄い程頼み込んだ。

惣兵衞は大酒家であつた、若い時から仕事は總々爲無いで、金さへ手に入ると酒に代へて飲んだ、利雄も度々意見をしたが『これはわしの病ぢや、藥を飲む代りぢや』と云ふので其儘に任せて置いた、久野が嫁いでからも日一日と其飲む量は增して、朝に夕に酒の中に浸り續けた、それでも利雄の會社から取る俸給のお蔭でやつて行けたが、今度夫婦が上京したので、無論毎月若干の金は送つて來るが大酒の惣兵衞には月毎に莫大の借金が出來た。

『寧そ自暴藥ぢや、此の家を叩き賣つて大阪の町へでも飛んでやらう』或日惣兵衞は斯う思つて、同じ酒仲間の太作に相談した。

『そいつア好い分別ぢや、若い奴等は若い奴で運も不運もあるんぢや、手前の家を手前に打ち賣つて好きな酒飲むのに誰が何と云はう』

やれ〱と勢付けたので、太作の世話で同じ村の久右衞門に賣り込んだ。

二百圓を懷に庄吉を引連れて或夜秘密大阪へ出た、あるが儘に此處で飲み彼處で飲んで北風の身を切るやうに寒うなつた頃には、さしもの大金を費消盡して、もう無一文の哀れな姿になつて、とある裏町のさゝやかな家を借りて、自分は相變らずごろ〱と寢て日を送つた。庄吉は其時八歳の暮であつた。

庄吉は幼い身に棒を荷つて、朝は四時の暗闇から起きて、大根菜ッ葉と時の物を賣り歩いた。

『廣島菜、廣島菜』庄吉の斯うした聲は雨の日も風の日も朝夕缺けた事は無かつた。

苦勞の中に日は經つて、庄吉は遂に十歳になつた。

○　○　○　○　○

『困つた、どうしようかしら』叔父さんは隣で燐寸貰つて來いと云ふけれど、そんなもの誰が呉れるもんか、と云つて買つちや承知爲無いといふんだから、若し買つたら何れ程怒るだらう、あゝ僕困つたなア』庄吉は小さい胸に斯う思ひながら歩を進めた、風でも降りさうな眞黑な空は今にもどうごろさうである。

中秋分韻得元　河島五山
齊發吟肩絶片言。桂花香裏酌芳罇。清遊無妓又何管。有月有詩風雅存。
學鷗曰、眞率可誦、
中秋分韻得先　服部矢山
晩來雲月照罇前。酔倚欄干忘渉然。此夜詩人何處宿。清輝或翫黑龍天。
學鷗曰、陰晴疑雲、一掃塵之詞、
中秋分韻得先　齋藤三寅
休嘆陰晴不定天。去來雲影掩嬋娟。縱人那管有無月。傾得高樓一酒樽。
學鷗曰、仙骨、何等豪放、

物品拂下公告
第一號 十八金八形モバード米式時計 一個
第二號 十八金二百四點 外十點
第三號 十八金ダイヤ入指環 外四點
第四號 十八金ダイヤ入 外一點
第五號 人力車 一輛
第六號 卷煙草 十七百四十九本
右物品十月十八日同十八日京城税關ニ於テ入札ヲ以テ拂下ス
大正七年十月三日　仁川稅關

刮目せよ
滿天下諸君の嘆する物價騰貴に成功法あり　比類なき空前絶後
最新寫眞術講義錄
◆新學期開始會員大募集◆
東京神田美東京寫眞術研究會出版部　電話神田一七四三番

競爭入札　購買
詳細ハ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

保險契約包括移轉に付公告
神國生命保險株式會社は保險業法第二十條の二乃至第二十條の十二の規定により其保有する有效保險契約の全部及び復活請求權を有する失效保險契約の全部を有隣生命保險株式會社に包括して移轉すべき契約を大正六年十二月十日同會社と締結し爾來成規の手續を經同法第二十條の四により農商務大臣へ保險契約移轉の認可申請中の處大正七年九月廿一日付認可を受け候に付保險業法第二十條の八の規定により此段公告仕候也
大正七年九月二十一日
東京市日本橋區南茅場町四十四番地　有隣生命保險株式會社
東京市日本橋區南茅場町四十四番地　神國生命保險株式會社
現在契約高……金五千貳百餘萬圓(大正六年度末)
諸積立金……金六百五拾餘萬圓(同上)
支拂保險金……金五百四拾餘萬圓(同上)
有隣生命保險株式會社　社長 飯田延太郎

英語
新式通信教授
見本附詳細會則申込次第進呈
諸君は英語を知れりや
英語は普く世界の日用語として使用せらる此時勢に際し英語の智識を缺くものは成功の人として絶望なり境遇の爲に學習の機會を失ひたる諸君は速に來れ今や新學期開講せらる入會の絶好機也
▲講師 現今一流の大家にて他に卓越す
▲學科 初等中學高等の三科、選擇自由
▲講義 平易明快親切何人も獨習容易也
▲設備 歐米の最新式に則りて完全無缺
東京市麴町區富士見町六丁目
大日本國民英語學會

早稻田大學
大隈侯指導の五大講義錄
新學年開始＝入學最好機
政治經濟科講義
法律科講義
文學科講義
中學科講義
商業科講義
見本附規則　申込次第　呈贈　◆各科十月初旬第一號發行
東京牛込　早稻田大學出版部　電話番町三三二四七 三三二五四

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目　三浦天龍堂

千利堂支店

鐵道枕木 一千五百本
船材 一千八百枚
右海州龍塘浦ニ於テ廉賣可仕候間御希望ノ方ハ左記ヘ御問合セ被下度候
海州龍塘浦海州面南本町電話五十五番
大倉組 朴昌領

最新刊
大阪屋號
戰後の事業
ゲーリー式の學校

# ◇勃講和提議と獨

【某所來電】獨逸外務大臣ヒンツェは九月廿七日議會委員會に於て勃牙利講和提議に關し說明したるが之れに據れば最近勃軍不利の戰況は過度に悲觀的にマリノーフ內閣に報告され二十六日ソフィヤ(勃國首都)に於て勃牙利がサロニカの協商軍司令官に對し講和の爲め休戰の申込を爲せる旨發表されたりされど右は同國軍事統帥部、議會、政府の同意の上に決行されたるものに非ざる如く獨逸統帥部は右勃軍の戰況を知るや直ちに強大なる兵力を其後備隊より割き同地軍より增援を派遣したりと(東京特電)

# ◇米佛軍ヒ線突破

米佛軍はヒンデンブルグ線を突破せり(倫敦電報)

# ◇伯林に暴動起る

伯林よりの報道に據れば同市には二十七日平和主唱者の暴動勃發し軍隊出動して鎭壓せり(倫敦電報)

# ◇フォッシュ將軍聲明

フォッシュ將軍は英國新聞記者に向ひ聯合軍は依然攻勢を繼續すべしと聲明せり(倫敦電報)

# ◇キユールマン伯林訪問

アムステルダム來電=同地新聞紙の所報に依ればキユールマンは突然伯林に到着したるが今回の訪問は一層重要なる用件を帶べるの理由に因り一切陳述を避け居れり(倫敦電報)

# ◇獨逸大本營會議

獨帝、皇太子、參謀總長ヒンデンブルグ、同次長ルーデンドルフ、宰相外相は二十九日大本營に會し一般政局及び勃牙利の政局に關して獨逸帝國議會に聲明することに就き協議せり(紐育電報)

# ◇獨逸宰相辭職說

海牙來電=獨逸宰相は辭表を提出せりと傳へられ伯林は勃牙利の不幸なる運命の爲め恐慌を來し居れり(倫敦電報)

# ◇オムスク政府顚覆說

ウオロゴトスキー氏のオムスク政府顚覆せりとの報道某所に達せり(哈爾賓特電)

# ◇英紙の內閣更迭評

倫敦に於ける新聞紙は寺內內閣辭職に關し一切沈默を守り居れるが新內閣成立迄は何等の論評をも爲さゞる可し唯だ之れに就き評論を爲せしはデーリーメール紙通信員有るのみにて同紙は曰く「今後の日本のチェック、スラバック援助に關し兵力及び地理上の範圍を決定す可き重大の時機に當りて寺內內閣は辭職し聯合國に取り重大なる危機は起れり寺內首相は西伯利出兵問題に關し英國民の好意を受くるに値す可きものなりき寺內內閣は辭職し輿論と衝突し遂に出兵程度を變更せり日本の輿論は出兵問題に關し冷淡なりしが之れ聯合國が同問題に關し組織的政策を缺ぎしと寺內首相を圍繞せる親獨政治家の聲明と人望に依れるものなり吾人は寺內內閣の存續せる間は吾人の立場を公開しつゝありしが後繼內閣に就きては知る可からざるを奈何せん」と(倫敦電報)

# ◇敍勳行賞

日支借款に就き功勞ありし勝田前藏相以下十六名に對し二十九日附敍勳行賞の御沙汰ありたり主なる受賞者左の如し(東京特電)

前大藏大臣 勝田主計
大藏次官 市來乙彥
敍勳一等授瑞寶章(各通)
大藏省理財局長 神野勝之助
金盃一組を賜ふ
大藏省海外駐箚財務官 小林丑三郞
授旭日中綬章
大藏省銀行局長 森俊六郞
授旭日小綬章

# ◇日支軍事協約締結功勞者行賞

日支軍事協約締結に就き功勞者に對し二十九日附行賞ありたり主なる受賞者左の如し(東京特電)

陸軍中將 青木宣純
陸軍中將 田中義一
敍勳一等 瑞寶章
陸軍中將 齋藤季次郞
授旭日重光章
陸軍少將 宇垣一成
陸軍少將 阪西利八郞
海軍少將 吉田增次郞
大使館參事官 芳澤謙吉
敍勳二等授瑞寶章
步兵大佐 本莊繁
敍勳三等授瑞寶章

# ◇前內閣書記官長等敍勳

廿九日附左の通り行賞ありたり(東京特電)

前內閣書記官長 兒玉秀雄
敍勳二等授瑞寶章
前總理大臣秘書官 池邊龍一
敍勳四等授瑞寶章

# ◇辭令

一月左の通り辭令ありたり(東京特電)

任鐵道院副總裁 石丸重美

# ◇兒島警務總長

兒島警務總長は三日午後零時五分元山發列車にて歸任の途に就く筈也(元山特電)

# ○金融界繁忙

朝鮮銀行券三十日の發行高現在は八千四百廿九萬圓にして尙ほ今後漸增の趨勢にあるが半島の金融界は穀出廻り期目先に切迫せる關係上既に買出し資金の少からざる需要申込みあり冬物仕入れも尙ほ繼續し居れる事とて金融界は漸次繁忙となるべし

# ○鐵道輸送近況

滿鐵京城管理局にては嚢に特別輸送の影響のため貨物輸送力激減し各驛共多少の滯貨を見つゝ有りしが特別輸送中止後は一層の努力を以て貨物輸送に努め來りし結果安東驛に於ける豆粕滯貨の外は殆んど輸送し終るの狀況にて今後ことに商食料品及び燃料品は專ら他貨物に先んじて輸送せしめん計畫なるが現在尙ほ若干かの軍需品を輸送し居るため時々一般貨物の制限は免れざる可し

# ○一銀新舊店長披露宴

第一銀行京城支店支配人西村氏横濱に轉任し後任竹村支配人來任に付入京中の日下一銀取締役は更迭披露のため二日午後七時より朝鮮ホテルに張宴せりデザートコースに入るや日下氏は起つて新舊支配人更迭の挨拶をなし併せて今後一銀に對し相變らず引立を望む旨を附加して來賓の健康を祝するや山縣政務總監は起つて簡單なる謝辭を述べ一銀京城支店のために一同と共に乾盃撤宴後別室にて京城老妓連の常磐津の餘興あり九時すぎ散會したるが來賓の主なる向は山縣政務總監、國分、宇佐美、松永、鈴木各長官、芳賀院長、美濃部、鮮銀正副總裁、鮮銀、殖銀重役、主なる高等官、民間銀行會社代表者、新聞通信社長等百餘名なりき

# ○鮮銀二店引繼期

朝鮮銀行の新義州馬山兩出張所は二店共に同地所在の朝鮮殖產銀行支店に行務の全部を引繼ぐ事となり居れるがその時期は殖銀開業期の一過後なるべく鮮銀にては殖銀の都合次第にていつにても引繼ぎ得る準備を整へありと

# ○臺灣經濟施設

明石總督談

陸軍大演習終了後なれば十一月廿日頃となる可しと[illegible]所で何の益にもならないでは無い[illegible]私は臺灣の經濟狀況が如何に[illegible]左樣[illegible]臺灣統治に關する大[illegible]完成せしめんとするのは大いに相[illegible]來年度新事業としては水力電氣等[illegible]私は今回豫算編成に關し上京する[illegible]でそれは六箇年の繼續事業で經費は水電が四千五六百萬圓であるが[illegible]

# ○大阪より

▲肥料閑散保合 米騷動の爲地方商人の買控へ物本月上旬頃より中旬位に必然現はるべしと玄人筋は觀察し居りしが未だ米價の高低頗る便りなきより引續き地方商人の買控へに市況は豆粕九月物四圓八十三錢十月物五圓五錢十一、十二月物五圓十五錢位に保ち合を呈し硫安十、十一、十二月物三百八十五圓二、三月物三百七十五圓四、五、六月物三百六十五圓硝石十月物三百七十圓見當にて之れ又市況閑散にて保ち合を示し居れり

# ◇故大浦氏從二位敍陞

大浦兼武氏危篤の報天聽に達し特旨を以て從二位に陞敍の御沙汰あり御見舞として葡萄酒一打御下賜ありたるが一日午後四時三十分薨去發表あるや大隈侯、山本伯其他知名の見舞客三百餘名に達したり、葬儀は四日午後一時青山齋場にて執行の筈なり(東京特電)

▲羅紗市況强調 東京毛織の火災損害の爲め羅紗市況は一時激作的の引締を告げしことありしが其後の商勢大體に於て保合裡に經過し居れるが季節關係上漸次商況は活潑を來たさんとするの成行きにありしが例に依り某方面より軍需用品として多量の註文ありし而も各製造會社は今冬より明春にかけての製品は既に約定濟なる爲め新規の註文に應ずる事能はざる結果自然註文品は之を市場にて求むるべからざるより或種の品に限りては滅切强調を示し居れり

▲麥粉相場强合 戒告以來鈍調を持續して殆んど目星しき取引きなかりしが解合の品は四人にて肩代りする事に決著したれば一人の持荷が數人に分配され何等變狀を呈する事もなき狀況となりたると共に解合後の人氣は急に强氣配となり先物取引は好き値段となりて手合せ出來たれば現物も之に連れて高唱へとなり朝日印小判印各五圓卅四錢竹印五圓卅五錢赤ボタン六圓見當にて市況色めき來れりと

▲製粉相場强調 東京の製粉相場は前日氣丈の成行きを呈し百合竹印十月物は六圓三十五錢にて五千袋の手合せを見たるが米相場の强調より製粉原料小麥相場の騰り見込みを傳へ限月は總て騰りの成行きを示し居れるが目先鳥渡騰りを持續すべく觀測せられつゝあるもの如し

▲藤田組製鐵計畫 大阪 藤田組及び大阪亞鉛鑛業株式會社並に藤田に大阪亞鉛鑛業株式會社は株式の引受けをなし創立せられたる信濃明治水力電氣會社の發電は今後二箇年の日子を要すべく傳へられ居れるが同水力會社の大株主なる藤田組にては水力電氣の發電完成と共に同地にて電氣製鐵事業を爲すべしと

▲佛國油質類公定 佛國商工務省にては輸入油質種子の卸値段並に同種に依り製造すべき油其び油粕の卸及び小賣價格を公定し同地駐在領事より本邦と取引關係を有する事となるべき油質並に卸賣公定相場を報告し來れり

殼付落花生一キンタル一九〇法 胡麻八五法 椰子の實二四七法 麻種一八五法 菜種最高二二〇法 最低二〇〇法 也と(竹水生)

# ◇原新內閣の政綱

原新內閣は格別政綱政策を發表せざる筈にて政友會四大綱目たる一、國防充實二、產業の發展三、教育の振興四、外交刷新は從來屢々天下に聲明せる故改めて國民に公表の必要無かるべければ也と(東京特電)

# ◇對新內閣態度決定

加藤總裁の演說=憲政會代議士會

憲政會は二日朝十時より本部に幹部會を開き新內閣に對する態度を決定し更に午後二時より在京代議士會を開き加藤總裁の演說あり其の要旨は從來政友會は何等政策政綱を發表せず妥協苟合に依り黨勢擴張に努めたるが今後は政綱政策を發表し勇斷敢行せんことを望むも若し不幸にして新內閣の施設我黨の主張と相容れざるときは我黨は國家の爲め適當の處置を執るに躊躇せざるべし(東京特電)

# ◇憲政の根本義に顧み

原內閣を歡迎=兎角の論議は尙早

國民黨總務關直彥氏談=純政黨より組織されたる原內閣に對しては憲政の根本義に顧み之れを歡迎す閣員の顏觸れも近年稀なる粒揃ひなれば多少の不滿ありとも徒らに非難攻擊す可きにあらず原內閣に對する國民黨の態度に就ては世上種々憶測する者あり其一は寺內內閣同樣好意的中立を持す可しと爲す者其二は犬養理事が適當の時機に外交調查會を辭し獨立の地位に立ち嚴正中立を標榜して政策問題に臨み其主義を異にする場合は飽迄反對す可しと做す者等多々あれど黨としては何等決定せし者無く又好意的中立、嚴正中立等具體的態度に就き考慮せし事無し唯だ原內閣出現を歡迎せる以上內閣其者に對しては誠心誠意同情す可く政策問題に就ては茲數日を經ざれば兎角の論議を爲す能はず(東京特電)

# ○朝鮮地價十億圓

耕地及宅地四百九十萬町

大野臨時土地調查局監查官談

朝鮮土地調查の結果朝鮮の耕地たる田畓に畑及び宅地の確定面積に就ては京城日報に揭載されし如くその合計面積四百八十七萬一千零七十一町歩なるがその時價の幾許なるかは俄に斷じ難きも土地調查局に於て收穫地位その他の點より考查せし調定地價は九億三千九百二十萬三千四百九十二圓となり居れり但し右の內宅地は主として大正一二年頃に地熱高潮せし際の調査にて其所によりては昨今幾許か低落氣味なきやと思はる、筍も耕地は昨年來米大豆類の暴騰その他のため價格漸騰しつゝあるため調定地價を超え居るべく當局朝鮮地價約十億圓と稱するは蓋し當らずと雖も遠からざる所なるべきか尙ほその大正七年度に於ける地稅收入豫算は一千五百十萬一千六百圓にして筆數は一千九百十萬七千五百二十筆となり居れり

# ○府下水豫算發表

京城府下水豫算は時局の影響を受け既定計劃にては到底事業遂行の見込み立たざるを以て豫算變更中の事は既報の如くなるが愈々右に基づく事業設計書並金額等確定せるを以て兩三日中發表の筈なりと

# ◎加藤精米所認可

合資會社加藤精米所設立の件は舊臘に代表者加藤小太郞氏より許可申請中の處九月三十日附許可の指令ありたるが同社は本店を鎭南浦に置き資本金五萬一千圓を以て精米業穀物賣買及び委託賣買倉庫業を營むものなりと

# ◎濟南鮮銀開店期

濟南に於ける鮮銀支店は店長たるべき杉之原孝善氏以下行員同地に赴き諸種の準備を急ぎつゝあり旣に家屋の借り入れは終りし由なるも內部の雜作手入れ等に手を要するありその他の關係上開業期も未だ見當附かずとの事なり

○西村支店長訪府 第一銀行横濱支店長に榮轉せる西村道彥氏は近く出發新任地に向ふ可きに付二日午前總督府に山縣政務總監其他を歷訪し暇乞の挨拶を爲したり

◎鮮銀の異動 朝鮮銀行にては中村氏の殖銀に入れる結果庶務局長の異動並に鹽川氏退職後國庫課長の補任その他幹部の更迭あり二日決定せし筈に付三日多分一日附にて發表すべしと

◎內藤博士入京 京都文科大學教授文學博士內藤湖南氏は二日夜南大門驛着列車にて入京天眞樓に投宿せり

○元江原道長官 新任江原道長官元應常氏は赴任の途二日夜南大門驛着列車にて入京天眞樓へ投宿せり

入市消息

▲酒井縣視學官 來る五日元山より入京直に渡滿の途に向ふ豫定
▲小野軍參謀 三日午後七時五十八分龍山發列車にて任地へ向け出發の豫定
▲三井榮長氏(總督府農務課技師) 全州へ出張中二日夜歸任
▲妻木栗造氏(三菱社員) 二日夜入京天眞樓へ
◆鈴木三郞氏(福岡生命社員) 同上
◆神谷卓雄氏(京都選出代議士) 同上巴城館へ
◆花輪猶次郞氏(釜山商業會議所書記長) 同上
◆近藤政次郞氏(日本鋼管株式會社重役) 同上

□義州曙目 大垣金陵
鴨綠江邊起暮雲。九連城外夕陽曛。當年龍鬪虎爭處。人影稀疎鳥影紛。
眼前光景、入詩即妙、枕石道人妄批

# 鳥瞰雜俎

兎角新內閣で評判の高いのは野田新遞相である▲こいふのは却々太つ腹で時々奇拔な事を云つてウアッハッハ、、、をやるからだらう▲愈々入閣と決した日など『君老は一體何者ですか』と客に訊かれると▲彼の大きな頭の上の眉毛を指して『之れだよ/\』でウアッハッハ、、、▲其から新大臣の御所感はと訊かれると『身は縮みとほけてゐます枝蛙』と一句を唸つて『まあ之れさウアッハッハ、、、』▲斯う云ふ人だから逸話も尠くはないが大遞相の今日迄の處世の秘訣として居ると云ふのは▲交際する人々に對し貸借對照表を胸裏に銘記して常に交はる人々に貸を多くして自分に借を少くして置く心得で行く▲而して貸は全然念頭に置かぬ其處がむつかしい處で達磨が無功德と梁の武帝を喝破したのは此處だ▲最一つは平民主義を以て萬事を處するが先づ家庭に其基礎を置く事である▲人間の浮沈は其時限りのもので今日の大臣は他日の一平民たる覺悟で居らねばならぬ▲人情の弱點として一度何かの位置を贏ち得れば一生作り附けの樣に思つて無い身代をも俄に膨脹させるので一朝其位置を失ふと忽ち困厄して了ふ▲人に授かる位置は其時のもので筑後の岩田村の一平民野田卯太郞は野田卯太郞丈の生活程度で決して變更せぬのである▲斯く覺悟を定めて居れば失うても人の樣に措くも無く復因りもせぬ▲之れが新遞相の處世上の二大方針である相な▲新遞相が立志傳中の一人である事は今更言を要せぬが畢竟するに此處世の秘訣が今日の新遞相を贏ち得た根本である▲實際立派な修身訓である


中央大學 在外員募集

在校シテ親シク聽講スル能ハズ本大學講義錄ニ依リテ修習スル所ノ者ヲ在外員ト稱ス●在外員ノ學年ハ每年十月ヨリ開始シ各科每ニ講義錄ヲ發行ス入學志望者ハ此際申込ムヲ最モ便トス講義錄ハ二三年級ニ分ツ然レトモ學習ノ能力アリテ各學年ヲ修了スルヲ得ヘシ

法科講義錄 八五、十ノ日ヲ以テ各級每月三回宛發行シ一ケ年ニテ必ス完結
●揭載科目ハ法學通論、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法、破產法、國際公法、國際私法、經濟學、財政學等ニシテ其擔任講師ハ斯學專攻ノ諸名士タリ

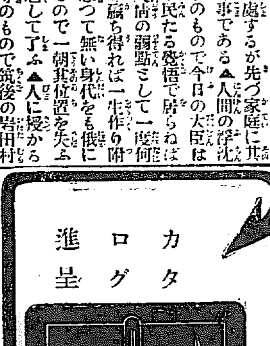
經濟科講義錄 八三、八ノ日ヲ以テ各級每月二回宛發行シ一ケ年ニテ必ス完結
●揭載科目ハ經濟學、財政學、農業政策、商業政策、交通政策、植民政策、貨幣及銀行論、社會學、統計學、商業學、商業史、經濟地理、商品學、簿記學、經濟學ノ全部及ヒ法律學ノ最要部トス其擔任講師ハ斯學專攻ノ諸名士ニシテ本邦唯一ノ經濟講義錄タリ●見本在外員規則書ハ申込アリ次第送付ス

大正七年九月 東京神田錦町 中央大學

月刊 朝鮮及滿洲 十月號出 第百三十六號 每月一回發行 一冊五錢稅一錢半 前金半年分二圓四十錢 一ケ年分四圓

▲始政八週年 旭邦生 ▲政變駄評 南山散士 ◎西伯利と世界的の謎 淺見海軍少佐 ◎時事慨言 兒島警務總長 ◎露の現狀と獨の東方政策 高柳少將 ◎戰時の鐵道政策…高橋滿鐵副主幹 ◎國民は發奮緊張せよ…片山鮮銀理事 ◎雪嶺博士…杉 ◎西伯利活動の人種…小林鶴城 原新內閣の政策如何…釋尾旭邦 ◎西伯利横斷旅行…芳賀博士 ◎最近の浦鹽…横山鮮銀檢査役 ▲過激派盛衰記…大果 ▲日鮮人比較研究…久保博士 ▲國史より見た朝鮮…萩野博士 ◎文祿役の發端…田中博士 ◎古蹟より見た山東省…今關大尉 ◎石塚總裁を訪ふ…東京支局生 ▲東京通信…飛魚 ◎大阪初旅の記…流水 西比利亞より歸りし阿部道明師を訪ふ 記者 ◎顏と音聲から見た大連紳士…柴吟 ◎山宅大佐の講演を聽く…ヒマラヤ山人 新に起りし朝鮮殖銀と幹部の人物 小說 血染の信號旗 京城菊花作り 京城淨瑠璃界 カフエー夜話 滿洲開原ページ ▲文藝 ▲文藝消息 ▲風聞駄語 ▲西伯利戰線より見聞 ▲滿鮮事業だより ▲鑛業勃興 ▲讀者欄 ▲十人十色 ▲哈爾賓

發行所 京城南山町一丁目 朝鮮及滿洲社 電話二二五〇 振替京城一二三〇



東京 竹內ベント金庫 カタログ進呈 熊平支店

▲冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事と延て燃料の高價なる事だと思ひます!
▲此二つのものは『ペーチカ』を設備なさると事に依つて大に輕減せらるゝのであります!
▲『ペーチカ』の設備は愈押詰つてからでは間に合ひません、今の内の御計畫が大切であります!
ペーチカ築設專門 京城府漢江通八番地 宮崎組 電話龍山五四二番 振替口座京城五四〇九番 說明書御申越有次第贈呈

謹告
時下新秋之候益々御淸穆奉賀候陳者弊商會儀創業以來逐日繁榮に趣き候設備に各位御得意樣の深厚なる御愛顧の賜と奉鳴謝候今回業務擴張の爲朝鮮製皮商會と合併し皮製防寒具は勿論其他一般皮具特に防寒靴は弊商會が卓越せる技術と豐富なる材料とを以て製造仕り殊に價格は出來得る限り勉强可仕候間何卒御用命仰付け被下度右御披露旁々御願申上候
各種毛皮 革具一式 製造販賣 貿易 京城黃金町三丁目 朝鮮製皮商會 主任 洪運杓 京城府主任 主務 田原彥三郞 電話二四〇三番

大歡迎 小形雜誌 ポケット 第貳號愈々出來
精選された記事の內容
口繪 博士の妻 武田比佐畫
吾輩は金貨である 美人の面かげ
諷刺小說 第一回 長田幹彥
文展つや物語
探偵奇談 新職 松居松葉
博士の妻
札幌美譚 新職 中井桃水
最近珍妙名前番附
和泉屋庄兵衛
地方奇談 只儲け十一万圓
長者奇談 金魚と敷島と胡瓜
智勇少年 手東弓 須藤南翠
家庭小說 第一回 二人の母 北島春石
滑稽 頭の判斷 松居凱歌
東京の「坂」のいろく
挿繪小說 離婚同盟 武田比佐
滑稽諷刺 トンダ珍客 奧野他見男
漫畫 下宿屋の一日 行左
名君と名家老 江戶川新職
挿優情話 八百藏心中 納凉話し
飢饉の茶寮 年新藥
浮世實說 第二回 成金村 渡邊霞亭
定價金拾錢 郵稅一錢 十月號 東京本町 博文館

嘉納治五郎氏＝二日夜南大門驛にて

# 柔道を始めてから
## 三十七年の間に柔道の眞價は何うして社會に認められたか
### 嘉納治五郎氏談
朝鮮は初めだから種々ご見もし聞きもしたい

東京高等師範學校長にて講道館長たる嘉納治五郎氏は二日午後九時十分南大門驛着列車にて高等師範學校柔道教授五段本田存氏其他柔道教授七段永田秀一氏及び外國人を同伴入京し直に永樂町嘉納鮮銀に（朝鮮國に入れるが南大門驛には講道館京城支部員及び在京有志多數出迎へたり氏は車中に於て語る

朝鮮は今回が始めてゞ種々見もし聞もしたいこ

▽思ふ事が澤山

にある日程も何も定めず飄然こやつて來たので幾日滯在して何をするか今の處漠然こ定めては居ないが朝鮮こ云へば先日朝鮮同化の意義から見た新附の民たる鮮人子弟の敎育、故郷を離れて殖民地にある内地人子弟の教育等は自から内地のそれこ異なつた處があるので參考になる事も多い事こ思ふ之等も追々こ觀察したい考へである又朝鮮に於る吾々の目に新しい風物にも

▽親しく接觸し

たい音に聞えた金剛の雄大な景色をも見たいし講道館朝鮮支部の開設式にも列する事にもなつてゐるので種々多忙な事であらうこ思ふ。私が柔道を始めてから？……左樣！三十七年許りになる始めた當時私はまだ大學の學生でその頃廣い東京中に毎日柔道の稽古をする者は僅に一人より無く私こ二人でやつたものだが追々こ柔道の眞價を認められ今日では海軍を始め各官立諸學校に柔道專門の教師を置き中等以上の學校では正科こして學科中に加へられるに至つた事を始めた當時から考へるこ隔世の感があるのこ云ふのも柔道は德育こして

▽最も理想的で

あるこ云ふ事が認められた結果である柔道は教育上から見ても體育德育を兼ひ合せて知育をも養成するものである然も之を樂みの間に得する事が出來るものである熟練の樂みを味はひつゝ人格の修養を行ふ事になる譯である行住坐臥人間の心を落附け常に人よりも一步强味に自分を置く事の出來るのも柔道の賚である此處に非常に知力に於て拔群の能力を持つた人があつたこしても體育の優れた人こ對等の議論を爲し得るか什うか知の人は體力の人に捻伏られるこ云ふ

▽弱味を持つ事

になつては知も亦體力に及ばざる結果こなるでは無いか此柔道は自分の體も自由自在に働かせ得る同時に心をも自由自在に働かせるこする事の出來るものである悲しまんこする時悲しみ憤らんこする時憤り冷靜ならんこすれば冷靜に己が欲する儘に心を働かせ得るもので知德體三育を兼ね修養せしむるものである

# 北滿出征軍隊 慰問使
## 門司發大連へ

北滿出征軍隊慰問使こして差遣されたる中田侍從武官は一日門司著川卯旅館に一泊し二日午後一時門司發大阪商船會社の哈爾賓丸にて大連に向へり（門司特電）

# 初獵の殊勳者
## 京仁線が一番好成績

獵期に入つたその日―即ち一日の各獵場に於ける成績を聞くに最も成績の良かつたのは京仁線で次は京義線である東大門外の鵲場は水が渉かつた關係上此の方面に行つた人は失敗したさうである京城の獵友中當日の殊勳者を擧ぐれば早瀨友三郎氏鴨五十沙四▲小林千藏氏鴨二十七▲吉武誠登氏鴨二十七▲吉村九一氏鴨四鵜一田鴨十一▲入見次郎氏鴨十六▲若林源次氏鴨二十八鷸七▲早野龍三氏鴨二十二▲和田ドクトル鷸七▲瀧川靜江氏鴨十一▲瀬戸氏青首二鴨十三▲石橋庭造氏鴨十八▲櫻井元藏氏鴨二十一等

# 村山氏を襲へる暴漢の自白
## 何れも東京者

大阪朝日新聞社長村山龍平氏を襲撃せる暴漢の中一名逮捕され東京麻布箪笥町池田弘こ自稱せるも疑はしきより取調の結果二十八日深更に及び本名及び連累者五名の姓名を自白したるが何れも東京市在住の者にて夫れ〻手配中なり因に逮捕されたる暴漢は拳銃及び廻り五寸許りの櫻ステッキを携へ居たり（大阪）

▼共犯者捕縛

大阪朝日新聞社長村山龍平氏に暴行を加へ捕へられし池田弘（三五）の共犯者は東京に入込み其一名内山福二郎（三〇）は一日午前零時東京驛構内にて捕縛されたり警視廳は某方面に連累者を搜査中なり（東京特電）

# 都野川の豪遊振
## 白水や花月で札ビラを切る
### 然し流石に犯した罪が恐ろしくなつたか 酒盃持つ手が怪しく震へた

鮮商殺し犯人都野川に關する警察側の調査は屢報の通りであるが兇行後犯人の京城に於る數日間の動靜を探聞するに犯人は兇行の翌晩廳にも料亭白水で酒肴の數を盡し百九十幾圓の勘定書を突きつけられた時十圓紙幣の

◈―百圓束を投り出し

『殘りは此の次に挪ふよ』こ仲居に云ひ、仲居は戯談ちやない、きつぱり拂つてお仕舞ひなさい』こ戯談半分都野川の懐に手を突き込んだら百圓束が五束位入つて居たので『そら御覧なさい、此んなに澤山持つてる癖に……』こ言つた調子で其中から一束を奪つて『お剩錢は頂戴』こ出るこ都野川は眩こ點首たさうである、其翌晩は料亭松葉に陣取つて情婦なる藝者

◈―忠信を呼んで豪遊

し忠信に衣服を作つてやるこ云ふ

◈―溫泉へ泊り込んだ

こ云ふ、こころが鐵冷溫泉ではお内儀に訊ねても下女に訊ねても唯眼を丸くして『新聞を見て喫驚して居りますのや……』こ云つた調子、一向それらしい男も女も見ゝなかつたこ云ふ、其翌晩には友人こ一所に料亭花月に馬首を回らして飮み且つ食つて居たが此晩には流石に大膽な彼も犯した罪に戰慄して居たこ見ゑて杯を持つ手が慄へたり襖の開け閉ぢにも

◈―悔々こ眼を配つて

居た、仲居なごも迂散な人だこ思つて注意して居るこ矢張り十圓紙幣で百圓餘り勘定を支拂つて玄關から俥の上に移るこすぐ幌を深く垂て門を出たので花月から雇ひの鮮人を尾行させたが俥が門を出るこ何處からこもなく一人の男が現はれて俥の後を尾行し始めた、處がごうしたのか雇ひの鮮人はこある共同便所の附近で俥を見失つたこ云つて歸つて來たが俥を尾けた今一人の男は多分

◈―刑事であつたらう

こ云ふ、犯人都野川は斯うして大膽に幾日かを京城に送つて平壤方面に逃げ更に逆戻りして内地に走つたのだが此間に警察署の調査手係は着々進行し犯人が愈平壤に發つたこ云ふ日に正しい見當が付いたのである、それから彼が内地に逃れるまでには電報延著の爲めに警察側の警戒線が相呼應するのに何時も

◈―齟齬を來たさしめ

やつこ大阪で捕まつた譯であるそこで警察署では『電報の延著には妙からず祟られた』こ云つて居る

# 過つて獵友を撃つ

成南永興郡書記陸軍步兵少尉平林卓藏及同郡畜産組合理事高松茂の兩人は廿九日同郡長興面鼎栗里に銃獵に出懸け豫て平林は合圖の笛を吹き鳴らすこ同時に雉目見けて一發放ちたるが合圖にて來るべき筈の高松は其影だに見ゑざるより平林は訝りながら小山より谿間に降り見たるに彈丸は外れて高松の頭部に命中し即死し居れるに驚き直ちに附近の部落に至り其の由を告げ自殺せんこせしも留められ其旨永興警察署に訴へ出でたりこ（元山特電）

# 各國兵士こ共同の爲め言葉の混雜には弱つた
## ビギン陣中の稻垣大佐語る
―金谷從軍記者―

黑い處女林の山影こ、巨きな河こ鐵橋こそれに殘こ丸木小屋で印象に遺つた烏蘇里線のビギンの驛、また他の人達のやうに汽車に振棄てゝ往かれるこを虞つゝ自分は

★聯隊本部 に稻垣大佐を訪れた、大佐は福岡の聯隊長去る八月廿四日のクラエフスキー附近の戰鬪では、小倉聯隊こ共に痛快に敵を擊破した三原旅團の勇士である、聯隊本部は美しい花園を有つた

★鐵道技師 の家屋を借りてあつた、新聞や電話や從卒や通譯の居る室を過ぎて大急ぎで聯隊長に面會するこ大佐は『ようこそ』こ大に歡迎して下さつた、室には寢臺こ軍用靴が横たはるばかり『ドホヴスコエ附近では如何でした』こ尋ねるこ『何分各國の兵士こ協同こいふので言葉の

★混雜には 弱りました……』こ語る、大佐の此の一語は玩味すれば意味深長、當時猛進し來る過激派軍に對し銃口を北に向けてゐたのは蓋し大佐等の三原旅團ばかりであつた、此間に處し

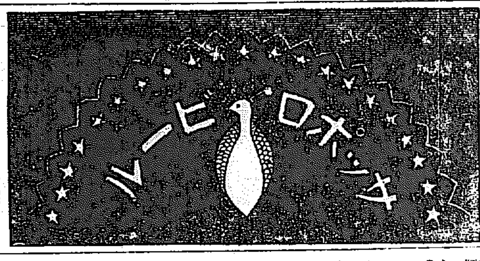
★大佐が弱 つたのは豈それ獨り言語のみならんや、大佐も却々隅には置けぬ『それからこいふものは山ばかり通つて、やうノ〜ビギンに出て來ました』こ、大佐の部下には將校斥候に行つて殪れた厚東少尉がある。寫眞は稻垣大佐……九月十四日汽車中にて

# 當が外れた群衆
## 鮮商殺し犯人護送を見んこて 南大門から本町署迄大混雜

二日夜八時半頃から九時半頃迄南大門驛から本町警察署に至る間の人混みつたら無い取り分け驛こ本町署の附近は黑山の人垣を築いた群衆は言ひ合したやうに

◈眼を光らし て躍つて走つて來る自動車や二三臺列なつて走つて來る人力車を眺めては『ソラ來た〻ごんな面魂か』なご言ひはやしてゐる之れ云ふ迄もなく全鮮の人士を戰慄驚愕せしめた例の龍山鮮商殺し犯人都野川義雄が此程惡運盡きて大阪で逮捕され京城へ護送さるゝを見物しようこ集まつて來た群衆であるこころが肝腎な犯人は定時の九時十分著の列車には乘つてゐない群衆は當てが外れて了つたがそれは本紙の夕刊を見ない人々で

◈實の犯人の 京城著は三日の午後九時十分である當が外れたのも無理はないが兎に角一時の人出こいつたら非常なものだつた二日午後十時




サッポロビール第二回懸賞廣告 當選應募圖案第二等入選
京城黄金町三丁目二五九番地 圖案者 山本利孝氏

# 恤兵金獻納
## 感ずべき鮮人

◈平壤府陸路里居住鄭觀朝は九月廿七日平壤府に出頭し遠征將卒の恤兵金こして金一千圓の獻納を申出でたり

◈平安南道平原郡漢川面廿八里外十一名は各金五圓乃至二十圓を醵出し合計九十五圓の獻納方を同郡廳に申出づ

◈平安北道定州郡郭山面々長李國胤は軍隊輸送開始以來毎日熱誠なる歡迎を爲しつゝありしが九月一日淸酒一樽の寄贈を申出で九月廿二日陸軍恤兵部に對し金三十圓を獻納せり

# 海軍航空隊 卒業飛行

横須賀海軍航空隊にては十二日卒業飛行を爲すべし（東京特電）

# 三ヶ尻翁に花輪

滿鐵線南關嶺に於て變死したる大邱商業會議所議員三ヶ尻忠吾氏の葬儀は一日午後三時大邱に於て執行盛儀を極めたるが滿鐵にては國澤理事長花輪一個を靈前に供へ且池見大邱驛長を代拜せしめたり

# 金光教會上棟式

本町二丁目五十五番地に新築中なりし永樂町の金光教京城教會所は來る五日午後二時上棟式

# 今迄に飮んだ酒が 匆驚六十餘石
## それを斷然禁酒した 大町桂月翁

渡鮮す平野水を飮みながら語る

◆大町桂月翁ご白水に談ず。翁は何時にな〻、黑紹服の轡裝にて、鼻下の鬚さへ無く、頗る若返りたる趣あり。翁曰く、予は絶對禁酒也。予が東京出發當時、某送別會に大盃を傾けし如く傳ふる者あるも、彼は全くの嘘言也。何者かの惡戯也、こ小杯の水を啜る。

◆予は當年五十。予の如き酒豪なる體格には、アルコール中毒に罹り易き事を初めて知れり。嘗に予の狂飮せし如く傳へられしは、全くアルコール中毒なりし也。當時に於ては酒を用ひざれば、頭の工合何さなく惡きより、朝、晝、晩は申すに及ばず、夜中にも用ひたり。即ち用ひざれば頭が何さなくぼけたるが故也。之れ既にアルコール中毒に罹り居たれば也。而も予は其を全く知らざりし也。さ呵々大笑。

◆予は精神病院に入り、絶對禁酒の決心をなせり。最初眠られざる時には唯眼を閉ぢて、徒然の餘り南無阿彌陀佛を口唱せり、斯くて漸く眠に入るを得たるが、目を重れて熟睡を得るに至るや、隣房の一患者に、南無阿彌陀佛狂の一人ありて、常に高唱して、今度は予の眠を驚かせしには閉口せり。然れども、アルコール中毒も、斯くて全く根治するを得たり

◆予は入院中、是迄の飮酒量を概算せしに約六十石餘を算せり。之には自ら驚かせり、而し此の點は大概の中毒者も、絶對的禁酒をなし精神に節制を行へば、必ず快復し得べしさの確信を得たり

◆予は二日午前出發先づ金剛山を探勝し、直に大連に向ひ、千山に登ち、更に遼西の醫巫閭山を見て、再び京城に來るべし。選は詩さ云ふ程のものに非ざるも、初めての渡鮮の感想を示さんに

祖生前後幾經營、百戰山河復客情。八道如今皇化洽、鐵車載夢到京城。

金剛山、千山、醫巫閭山にては大いに、和歌さ、俳句を飛ばす心算也呵々

# 新荷着

英國製グリーナー二連獵銃……金二百八十圓以上／金一千圓迄
英國製ボネヒル二連獵銃……金一百圓以上
英國製ダアロウ二連獵銃……金六十圓以上
英國製ミッドランド二連獵銃……金八十圓以上
英國製エレー獵用雷管百發……金二圓
英國製アンペライト無煙火藥一罐……金五圓
米國製レミントン十二番自働獵銃……金百二十圓
米國製セルビー無烟裝彈百發……金十三圓以上
米國製セルビー無烟火藥一罐……金二圓
一九一八年式獵用附屬品各種
少年及青年用新式空氣銃各種
金丸製新式二連及村田、元折單身銃御注文に依り製作す
其他火藥、散彈等全備

横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 店主 西村潤藏
電話本局一五五番 振替東京四七一番
【定價表郵呈】（獵犬部新設）

主力は
モリナガにあり！
キャラメルの主力は
森永ミルクキャラメル！

森永製菓株式會社



秋季一部次特別大興行
問題の寫眞
皆さんの御記憶に未だ新しき 行李詰の死美人
◎自殺か？他殺か？事實？悲劇 疑問の死 四卷 原名―最暗黑の露西亞
◎奇譚か事實か 先驅の叫び 六卷
◎滑稽活劇 デブこマベルの新世帶 二卷
愈々三日より 黄金館

京日案内
普通一回前金七拾錢 番外一回前金一圓
▲申込中後途取消中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

外勤社員 數名採用 外交ノ經驗有無を不問 優遇す 新契に經驗ある人は特に優待す 履歴書持參午前中來談 京城黄金町二 太平生命保險支部

◎有給 外勤社員 數名採用 希望者は午前十時より午後四時迄履歴書持參ありたし 京城黄金町一 蓬萊生命朝鮮支部

內勤員一名入用 履歴書持參午前中來談あれ 但簿記の素養あるもの 市內保證人を要す 京城黄金町二 太平生命保險支部

鮮人小使入用 日語解する者一名 齡廿五以上四十以下但家庭持の者にて自轉車に乘る者自筆履歴書携帶乞來談 三井物産會社京城支店

◎女中入用 經驗有る者 本人來談あれ 本町三丁目二五 電話三二五 山本旅館

朝鮮語科 英語科 新學期 三ヶ月修業 各級補缺募集 外人二名出席 南大門通（漢城銀行向）京城青年會

五十嵐勇次郎儀 豫而病氣之處養生不相叶昨二日死去致候ニ付此段謹告仕候 追而葬儀ハ途中行列ヲ廢シ若草町本願寺ニ於テ三日午後五時執行仕候
男 五十嵐藤次
親戚 五十嵐龜吉
總代 村田彌六
友人 西尾留之烝
總代 吉田賢藏
豊田由松

荊妻ハツ儀 豫而病氣ノ處本日午前十一時死去仕候間此段謹告仕候 追而葬式ノ儀ハ途中行列ヲ廢シ來ル十月四日午後四時初音町二二〇番地ニ於テ佛式相營ミ可申候
大正七年十月二日 京城日之出町拾四
若林亮助
親戚 志岐信太郎
若林信泰
湯本芳三郎
友人 井形九八


…に於る陸軍攻防演習を見學した切つた所で夫れが如何に違ふだらう… か又華人が如何して居ると云つた委しい利益の事は聞いて呉れ給へ、來ないと云ふ事を承知して居るのも[illegible] いに努力奮勵して呉れねばならぬ [illegible] 萬馬力の電力を起さうとするもの [illegible] 箇所に於る耕地力增進の爲である から此等の點を改むれば米と云は [illegible] 米價騰貴の爲め甘庶の植付反別減 やせ甘庶と云はず産出力は大いに增

# 妻の心 百九

十七の五 小林蹴月作 武内桂舟畫

『貴郎、妾の顔を吐月峰と間違へちや困りますわ。』

駒子は、負ける事の嫌な代りに、激する事も亦、普通の柔順なる女とは異つた。彼の女は、片膝を立つて、久三郎の片袖をいやッと云ふほど引つ掴んだのである。

『間違へたら何うしたんだ。』

久三郎は、振り切つて階子段を降りやうと爲てゐる。

『什うしたんだではありません。一旦は貴郎の妻になつた妾でも、彼アした行掛りから暇を頂いて了へば、無關係の他人ですよ。他人の貴郎から、親に貰つた大切の顔へ痰唾を吐つかけられて、默つて居られますか。』

『默つて居られんきや、出る所へ出ろと云つてるぢやないか。』

『出る所へ出るまでもありません。斯うして御返禮を爲て差上げます。』と云ひながら駒子は、久三郎の遊羽織の袂をぴりゝと前齒にかけて引裂くよと見たが、その片端で久三郎に吐つかけられた額の痰唾を惜氣もなく押し拭いたのである。

『畜生、克くもそんな亂暴を爲をつたな。』

『亂暴とは貴郎のこつてせう。』

『なッ、な、何を吐しをるんだ。』

久三郎は、拳を上げて既での事に駒子の小鬢を撲り飛ばさうと爲る處へ慌だしくも階下から驅け上がつて來たのは、お瀧である。

『まッ、町川の旦那樣、什うした事情で、そんなに御立腹か知りませんが、今日の所は妾に何卒お任せ遊ばして下さ……。』

『任すも任せんもないんだ。お前の娘の駒子と云ふ奴は、實に怪しからん不都合の動物だ。』

『でも御座いませうが、まあ壁一重隣には御他人が住でお在るんで御座いますから、そんな大きな聲をお立て下さいましては……』と、お瀧は、二人の中へ割込やうにして、久三郎の振上げた拳を抑へる。

『なアに、阿母さん、打つ捨つといて下さいよ。町川の旦那は、然う云ふ事をなさるのが、御自分の理想なんですとさ。』

『あれまあ、お前限りにも女の分際でそんな事云ふもんぢやありませんよ。何卒ね町川の旦那樣、天性斯う云ふ氣質の女で御座いますから、お腹も立ちませうが、妾の此の皺面に免じて御勘忍遊ばして下さいまし。』

『仕方がない。老人のお前が然う云ふなら、乃公も好んで野蠻な舉動は現はしたくはないんだ。今日は此の儘歸つてやらう。歸つてはやるがね、お袋、お前の娘と云ひお前の悴と云ひ、實に揃ひも揃つて心掛けの良い人間ばかりだね。』

久三郎は、駒子に引破られた羽織をその儘、不精不精に階子段を降つて、後をも向かずに飛出して了つた。

『駒ちゃん、一體お前さんは何うしたと云ふのだ。』

お瀧は、折角の珍客が舞込みながら、一錢のお茶代も有附かずに彼の爲體で歸らせて了つたのは、怎麼にも殘念で堪まらぬさうな口吻である。

『なアに、阿母さん、紳士だの金持だのと云つて、表面は大きな顔を爲て居る者は多いが、裏面へ入つて見れば、全部彼樣もんだわ。さうせ一生涯面倒を見て貰ふ譯でもありや爲まいし、昨夜の大風と一緒に吹き拂つて了つた方が、餘程清々として好い心持ちなのよ。それや然うと、只つた一つ不思議でならない事は、町川さんが何うして、家の阿兄さんとお芳さんとの關係を、彼麼に詳しく知つてるんでせうかね?』

眼の前に在る演藝畫報の中から、お芳からの文殼が出た一件は、千里眼ならぬ駒子に、分らう筈はなかつたのである。

『おやッ、それでは町川の旦那が何かね、欣一とあの錦昇さんとの仲を氣取つてお在るのかね。』

『氣取つた位の事ぢやないのよ、阿母さん、一から十まで承知して居て、お前も乾分黒猫の一人だらうつて、斯う云ふのさ。それが今の大葛藤の原因なんだわ。』

『成る程ね、それでは町川さんがお前を疑ふのも萬更無理とは云へないね。だから妾や、欣一にも、彼ア云ふ旦那のある女と秘密の關係を繋いで居るのは、善くないから早く思ひ切るやうにと若蠅く意見してるんだがね。』

『今更、何と云つたつて、仕方ありや爲ないわ。彼れが阿兄さんの病氣なんだもの。妾は妾で、矢張阿兄さんの方にも關係なしに藝者でも爲てる方が好いさうだわね。阿母さん。』

母子水入らずの本音と本音とである。する内に午砲の響きが手に取る如く聞えたので、お瀧はハッと驚いたやうに起ち上がつた。

## ○女流讀書界の三傾向

家庭雜誌=文藝雜誌=思想中心雜誌……

幾十種とある婦人雜誌も、之を其の内容の性質から分類すると大體三種類となる、第一種は臺所記事の多い奥さん向きのもの、次は文學的の材料に富んだもの、第三は思想問題を中心としたもので、ある此の外に讀むよりも見る方が主となつてる寫眞畫報の類がある。某書店主は語る『現在では臺所向の雜誌が能く賣れる之は今日の女が家庭と云ふものを忽かせにせぬ證據で若し思想問題等にのみ沒頭するやうになれば勢ひ臺所雜誌が賣れなくなる筈である臺所雜誌が一冊も賣れなくなつた時は其れこそ、我々の家庭は破滅して了ふ時であらう然し思想問題に關する記事の多い雜誌が可成り若い婦人に讀まれて來た所を見ると一歩一歩日本の女も頭が進歩して來たと云はねばならぬ殊に之れわるのも侮ることが出來ぬと思ふ畫報式の婦人雜誌は別に問題とすべきではないが東京、大阪では家の娘の寫眞が出たからと云つて一時に五十部百部を買ふ家庭もあるさうだ』と

## ○流行つて來た 伊勢踊子

るが花容の優美なのと栽培の容易なのは一般に好まれる原因である [illegible]

アンサスミラビリスに似てるが好く出來ると花徑六寸以上に達し [illegible]

仁一ボンドを溶じたるものを混合はせ本鉢の底に挿込み [illegible]

水せねばならぬ、又油粕を與へると蟲が付たがるので [illegible]

取りなことであるが花片には缺刻が深く且八重の優れたものは所謂 [illegible]

事がないので優秀なものを保存するに都合が好い(宏氏談)

## 唐辛 五の日十の日合 眞三

[illegible]

## 讀者の領分

[illegible]

京城本町 千代田號印舖 電話(九九八・九八七)番


花柳病 外科專門
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睪丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱●ヒステリー
606
京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番



天 洋鐵 洋釘 亜鉛線 鋼 浪平板 鋼 真鍮板 線 鐵力板 地金類
福田又三郎 京城支店 京城南大門通

互光商會 汽船出帆廣告
大阪商船 出帆
尼崎汽船 出帆
朝鮮郵船 出帆
[illegible]


□課題 文藝 募集規定

□募集規定 [illegible]